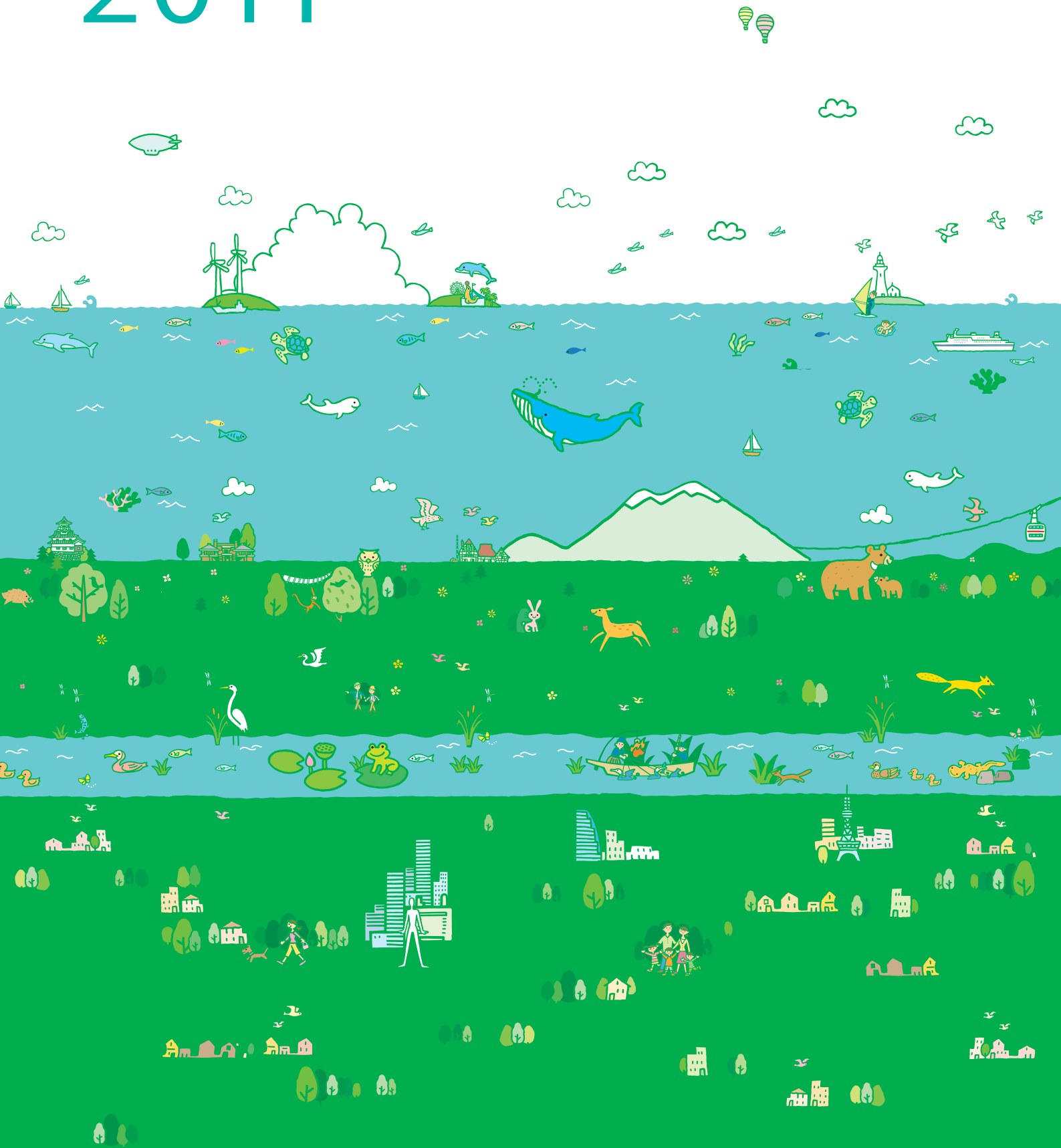


名鉄グループ 環境・社会報告書

2011





ごあいさつ

私たち名鉄グループは、豊かな生活を実現する事業を通じて、地域から愛される「信頼のトップブランド」をめざします。



名古屋鉄道株式会社 取締役社長

山本 亜土

はじめに、本年3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますと共に、1日も早い地域の復興を謹んでお祈り申し上げます。

この震災により、東北地方に拠点を構える当社グループ会社も甚大な被害を受けました。被災した会社の懸命な復旧努力とグループ挙げての支援により、ほぼ通常の営業態勢に復旧することができましたが、いずれも地域の生活基盤を支える重要な交通インフラ事業として、その社会的責任の重要性を改めて認識いたしました。

さて、当社グループは、「名鉄グループ経営ビジョン」において「地域価値の向上に努め、永く社会に貢

献する」ことを使命とし、「地域から愛される信頼のトップブランド」をめざすことを経営理念としております。この経営理念に基づき、交通事業を基盤とするグループとしての「安全・安心の徹底」は勿論、「社会的責任の完遂」を重要な経営方針の一つとして掲げ、環境活動においては、平成18年に環境方針「名鉄グループエコ・ビジョン」を策定し、グループを挙げて環境保全への取り組みを推進しています。

当社においては、エネルギー効率の高い鉄道やバスなどの公共交通を利用することそのものが「身近で簡単な環境活動」であることを広く皆さまに理解していただくため、平成18年より「電車で、ECO MOVE。」キャンペーンを展開しております。また、その一環として、平成20年より地球環境を考えるさまざまな施策やイベントを展開する「名鉄エコプロジェクト」を実施しており、鉄道の環境優位性を理解していただき、環境にやさしい移動・行動を訴えることを通して、地域とともに環境負荷の低減に取り組んでおります。

一方で、沿線でのパーク&ライド駐車場の整備、駅のバリアフリー化などに加え、本年2月にICカード乗車券「manaca(マナカ)」を導入するなど、お客さまの利便性の向上にも取り組んでおります。

当社グループは地域に密着した社会・環境に貢献できる企業集団として、企業としてはもちろん個人レベルでも地球環境や社会に貢献し、当地域の更なる発展に寄与できるように、引き続き真摯に取り組んでまいります。

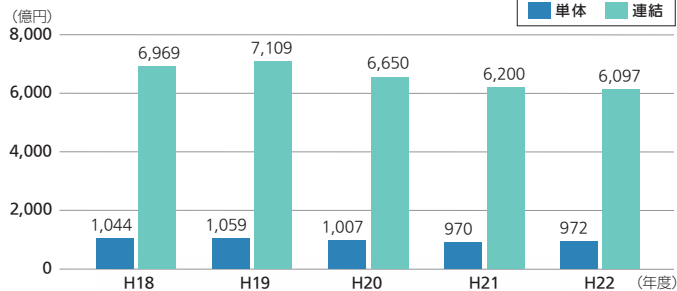
■ 路線図



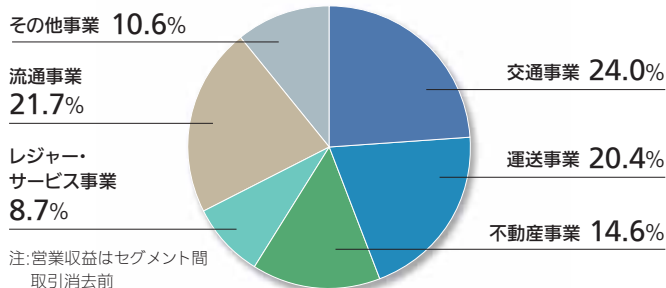


# 名鉄グループの概要 (平成23年3月31日現在)

- **関係会社数** 連結子会社 134社  
持分法適用会社 15社
- **営業収益** 6,097億16百万円 (平成23年3月期)
- **従業員数** 32,196人
- **営業収益の推移**



## ■ 営業収益比率 (平成23年3月期)



## 名鉄グループ経営ビジョン

<b>使 命</b>	地域価値の向上に努め、永く社会に貢献する
<b>経営理念</b>	私たち名鉄グループは、豊かな生活を実現する事業を通じて、地域から愛される「信頼のトップブランド」をめざします
<b>経営方針</b>	<b>経営の原点</b> お客さま満足を高める全社体制の確立
	<b>グループ経営の方向</b> 競争に打ち勝つ経営力強化と新しい事業への挑戦
	<b>目指す社風</b> 一人ひとりの資質向上とチャレンジできる風土づくり
	<b>存続の条件</b> 社会的責任の完遂
<b>行動規範</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 真心のこもったサービスを提供し、信頼を勝ち取ります</li> <li>■ 新しい流れをつかみ、常にチャレンジします</li> <li>■ 一人ひとりが役割と責任を果たし、前進します</li> </ul>

## 名古屋鉄道株式会社の概要

- **社 名** 名古屋鉄道株式会社  
Nagoya Railroad Co., Ltd.
- **創 業** 明治27年(1894年)6月25日
- **設 立** 大正10年(1921年)6月13日
- **代 表 者** 取締役社長 山本 亜土
- **資 本 金** 841億85百万円 (平成23年3月31日現在)
- **営業収益** 972億68百万円 (平成23年3月期)
- **従業員数** 5,142人
- **事業内容** 鉄軌道事業、開発事業
- **駅 数** 275駅
- **営業キロ** 444.2km
- **輸送人員** 年間340,386千人 (平成22年度実績)

# 目次

- ごあいさつ
- 名鉄グループの概要 ————— 1
- リスク管理体制とコンプライアンス体制 — 2

## 特集

4・22

- 名鉄エコプロジェクト2011 ————— 4
- 文化財保護 ————— 22

## 環境活動報告

6

- 名鉄グループ エコ・ビジョンと推進体制 — 6
  - 名鉄グループ エコ・ビジョン ————— 6
  - 推進体制 ————— 7
  - アクション・エコ中期計画 ————— 7
  - 環境マネジメントシステムの導入 ————— 7
- 名古屋鉄道の取り組み ————— 8
  - 名鉄エコ・プラン ————— 8
  - ①環境負荷の軽減 ————— 9
  - ②利便性の向上 ————— 13
  - ③地域環境貢献 ————— 14
  - ④環境法令の遵守 ————— 15
  - 環境負荷データ ————— 16
  - 環境会計 ————— 17
- 名鉄グループの取り組み ————— 18
  - 交通・運送 ————— 18
  - 不動産・技術 ————— 19
  - 流通/レジャー・サービス ————— 20

## 社会活動報告

24

- 安全への取り組み ————— 24
  - 安全に関する基本方針と安全重点施策 — 24
  - 安全管理体制 ————— 24
  - 安全性向上対策 ————— 25
- お客さまとのかかわり ————— 28
- 地域社会とのかかわり ————— 30
- 株主・投資家の皆さまとのかかわり — 32
- 従業員とのかかわり ————— 32



# リスク管理体制とコンプライアンス体制

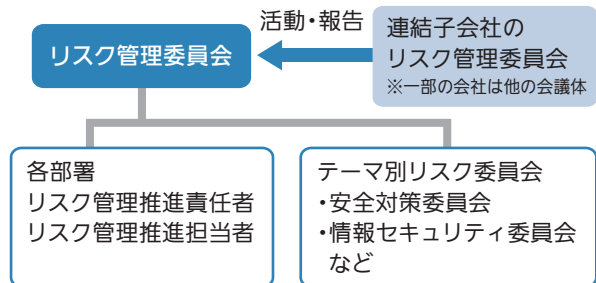
## 【リスク管理体制】

名鉄グループは、事業の継続と安定的な利益の確保による発展を阻害するさまざまな要因を「リスク」ととらえ、それらを的確に管理していくことを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、「名鉄グループリスク管理基本方針」を策定し、基本目的および行動指針を明確にしています。

<b>名鉄グループ リスク管理 基本方針</b>	<b>基本目的</b>	<b>1 平常時の予防及び軽減措置</b> 名鉄グループの事業を取り巻くさまざまな「リスク」の把握に努め、平常時から、可能な限り損失発生 の未然防止、軽減措置を講じます。 <b>2 緊急事態発生時の適切かつ迅速な対応</b> 緊急事態発生時においては、組織の機能を維持し、損害の拡大を防ぐとともに、迅速な復旧を可能 にします。
	<b>行動指針</b>	<b>1</b> 私たちは、より高い公共性と社会的責任が求められる事業者として、安全の確保を最優先します。 <b>2</b> 私たちは、会社関係者（お客様、株主、地域社会、取引先など）の安全、健康及び利益を損なわない ように活動します。 <b>3</b> 私たちは、従業員などの会社構成員の安全及び健康を損なわないように活動するとともに、経営資 源の保全を図ります。 <b>4</b> 私たちは、災害・事故などで被害を受けた場合にも、事業または業務を中断させないように備える とともに、万一、中断したときには、迅速に復旧させることにより、事業者としての社会的責任を果 たします。 <b>5</b> 私たちは、リスクが顕在化した際には、責任ある行動をとるとともに、再発防止のために最善の努力 をします。

### ■ リスク管理委員会

グループ全体のリスク管理を統括する機関として「リスク管理委員会」を設置しています。また、特定のリスクについて具体的対応策を検討する「テーマ別リスク委員会」を設置し、迅速かつ適切にリスクに対して対策を講ずる体制を構築しています。



鉄道を利用すること、それは地球温暖化防止への近道です。

## 「電車で、ECO MOVE。」始めてみませんか？

地球環境への問題意識が高まる中、皆さまが普段心がけている「エコ活動」にはどのようなものがあるでしょうか。エコバッグを持ち歩き、レジ袋を断ったり、電気をこまめに消したり、家電製品を省エネタイプのものに買い替えたり、いろいろな活動が思い浮かぶと思います。



省エネルギー車両(3300系)

しかし、身近な「エコ活動」の一つに「鉄道を利用すること」が非常に有効であることをご存知でしょうか。地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素の、国内で排出される約2割は人や物の移動に関わる運輸部門

によるもので、そのうちのほぼ半分がマイカーによるものです。一方で、一度に多くの人を運ぶことができる鉄道は、そのわずか3%にすぎません。さらに、1人を1km運ぶ際に排出される二酸化炭素量を比較しても、鉄道はマイカーの約9分の1となり、鉄道を利用することがいかに環境にやさしい移動手段であるかをお分かりいただけるとと思います。マイカーの環境性能は日々向上していますが、その保有台数の多さが地球環境へ大きな負荷をかけています。

名古屋鉄道では、電車で移動するという行動そのものが、環境にやさしい行動であることをもっと知っていただきたいという思いから、平成18年6月から「電車で、ECO

## 【コンプライアンス体制】

名鉄グループでは、地域社会からの信頼を得ることを基本姿勢とし、誠実かつ公正な事業活動を行うことにより、社会の発展に貢献していくことを目標としています。そのために、「名鉄グループ企業倫理基本方針」を策定し、5つの基本方針と22項目の行動指針を定め、私たちの役割と責任を明確にしています。

### 名鉄グループ企業倫理基本方針 基本原則

#### 1 ルールの遵守(法令遵守の徹底)

ルールを遵守し、社会規範に従い、高い倫理観を持って責任ある行動をします。また、万一、この方針に違反するおそれがあるとき、違反する行為をしたとき、または違反する行為を発見したときは、直ちに上司や関係者に報告し、適切な措置をとります。

#### 2 安全の確保

安全の確保はすべてにおいて優先します。全社をあげて、絶えず安全が阻害されていないかどうかを監視し、安全性の向上に努めます。

#### 3 公正な事業活動

お客様、株主、地域社会などすべての会社関係者に対し、誠実かつ公平正大に接し、透明性のある事業活動を行います。

#### 4 積極的なコミュニケーション活動

広く社会とのコミュニケーションを行うとともに、企業情報を積極的に発信し、開かれた会社を目指します。

#### 5 人と社会の尊重

人権を尊重するとともに、良き企業市民として、社会貢献・環境保全活動などに積極的に取り組みます。

## ■ 主なコンプライアンス活動

### ○企業倫理行動マニュアルの配布

名鉄グループ企業倫理基本方針に定められた基本原則や行動指針についての具体的な事例をマンガで解説した「企業倫理行動マニュアル」を全従業員に配布し、従業員のコンプライアンス意識の向上を図っています。

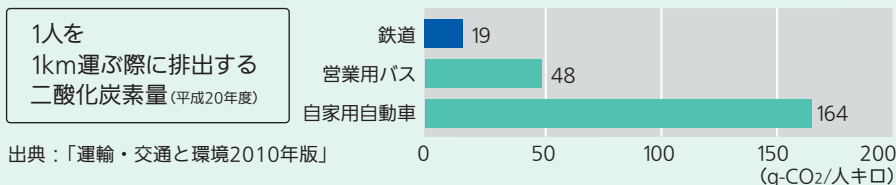


### ○コンプライアンス責任者、コンプライアンスリーダーの任命

各職場ごとにコンプライアンス責任者とコンプライアンスリーダーを任命し、職場内での働きかけや相談等を通して、コンプライアンスマインドの浸透に努めています。

MOVE。」キャンペーンを展開しています。「ECO MOVE (エコムーブ)」とは、電車を使って「環境にやさしい移動をしよう」「環境にやさしい行動をしよう」というメッセージを込めた当社オリジナルのエコキャッチフレーズです。

キャンペーンを象徴する「エコムーブマーク」を定期乗車券や当社発行のパンフレット類、また社員の名刺に印刷するなど、皆さまの身近なエコ活動の一つとしての鉄道利用を呼びかけています。



電車で、ECO MOVE。

### 「エコムーブマーク」デザインのコンセプト

「ecology(環境)」の頭文字「e」をベースに、環境保全の象徴として誰もが認識できる「地球」をデザインの中心に据えています。親しみやすい「笑顔の電車」が、弧を描きながら上昇していくさまは、鉄道事業の躍動感とともに、環境にやさしい移動手段としての使命の永続性を表現しています。遠目には、地球のまわりをコトコト走り続ける、人にも環境にもやさしい電車を連想させ、鉄道事業と環境との調和を、柔らかに、かつ明快に示しています。



# 名鉄エコプロジェクト2011

名古屋鉄道では、平成18年6月から環境にやさしい鉄道の利用促進をPRするキャンペーン「電車で、ECO MOVE。」を展開していますが、その一環として、本年度で第4回目となる「名鉄エコプロジェクト2011」を2011年5月22日～2012年3月31日まで実施しています。

このプロジェクトは鉄道の環境優位性および名鉄グループの環境への取り組みをPRすることを目的に、沿線の自然・風景・生き物を再認識してもらい、環境意識を高めることに貢献しています。

## 1 “エコムーブトレイン”の運行

平成20年の運行から今回で4代目となるエコムーブトレイン。今回のテーマは沿線の自然や風景をコンセプトに、1両ごとに「海・街・川・山」をイメージしたイラストで電車をラッピングしました。また、電車内のポスターでは、本年2月に導入したICカード“manaca”や名鉄グループの環境への取り組みを紹介しています。



エコムーブトレインデザイン



エコムーブトレイン車内ポスター掲出の様子

## 2 「親子で学ぶエコ教室」の実施

エコについて親子で楽しく学ぶ「親子で学ぶエコ教室」を平成23年8月21日に実施し、親子ペア55組が参加しました。

蝶や昆虫などいきものを撮影する中で感じた自然との繋がりについて自然写真愛好家の神谷孝信氏の講演の後、エコムーブトレインにご乗車いただき、環境に関する「エコクイズ」などを行いました。また、途中で豊明検車区において、電車に乗車したまま洗車機に入る体験も行いました。

後半は大高緑地(名古屋市緑区)へ移動し、花や緑に囲まれた自然溢れる同所を散策しながら、同氏と共においきもの探しやいきもの撮影を楽しみました。



エコムーブトレイン車内の様子



大高緑地散策の様子



### 3 「日本モンキーセンター スーパーサマースクール」の開催

夏休みに小学校高学年～中学1年生の子どもたちを対象として、1泊2日の体験型の本格的環境学習プログラム「日本モンキーセンタースーパーサマースクール」を3回にわたり開講しました。

毎回大勢の子どもたちが東京・大阪・名古屋から参加し、レクチャーやオリジナル「サルとヒトの進化図鑑」づくりを通じて霊長類学を学び、飼育体験、石器づくりと石器を使った調理体験、夜の動物園探検などを体験。サルを通じて進化や生物多様性について学びました。



学芸員によるレクチャー

特集

名鉄エコプロジェクト2011

### 4 名鉄グループ提供ラジオ番組「MEITETSU ECO STATION」の放送

2011年6月から2012年3月の期間中、毎週月曜から金曜8:46～8:51にZIP-FMにおいて、名鉄グループ提供のラジオ番組「MEITETSU ECO STATION」を放送しています。番組内では、リスナーの皆さまから寄せられた、環境に関する素朴な疑問にお答えしながら、日常の中に隠れている“エコ”について紹介します。

### 5 メッセナゴヤ2011出展(予定)

平成23年11月9日～12日(予定)に開催される「明日を拓く提案 ～環境・安全・モノづくり～」をテーマとした日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2011」(於:ポートメッセなごや)に当社及びグループ3社で共同出展します。省エネ車両の導入やきっぷのリサイクルなど当社グループの環境に対する取り組みや環境関連商品を紹介することにより、「環境にやさしい名鉄グループ」をPRします。

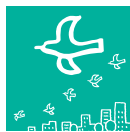


メッセナゴヤ2010イベント風景



# 環境 活動報告

よりよい環境を  
次代へ引き継いでいくため  
グループ一体となって  
地球環境保全に貢献していきます。



## 名鉄グループ エコ・ビジョンと推進体制

グループ環境方針のもと、推進体制を確立し、環境活動の深度化を図っています。

### 【名鉄グループ エコ・ビジョン】

名鉄グループでは、環境にやさしい企業活動をグループ経営戦略のひとつとして活かし、社会的責任の完遂を進めていくため、平成18年4月に環境方針「名鉄グループ エコ・ビジョン」を策定しました。

### 名鉄グループ エコ・ビジョン

#### 基本理念

名鉄グループは、環境問題を地球規模で考え、  
地域・個人レベルで行動し、環境にやさしい企業をめざします

#### 基本方針

- 1 環境問題に対する一人ひとりの意識向上につとめます**  
地球環境問題を正しく理解し、持続可能な社会の実現のために一人ひとりが行動できるよう、環境教育や啓発を通じて、意識向上を図ります。
- 2 環境保全に関する技術力の向上と提供につとめます**  
グループが展開する幅広い事業を活かし、各社は保有・開発する環境保全事業やノウハウの共有と社会への提供を通じて、環境負荷の軽減を図ります。
- 3 地域との連携を大切にし、環境保全に対する社会貢献につとめます**  
地域を中心とした関係各方面と協力し、地球環境保全の向上を図ります。  
また環境に関する情報公開を通じて、あらゆるステークホルダーとの対話を深めます。
- 4 環境法令の正しい理解と遵守につとめます**  
名鉄グループ企業倫理基本方針に則り、環境法令の理解・遵守はもちろんのこと、各社相互間の情報交換等を通じて、環境リスクの予防と低減を図ります。

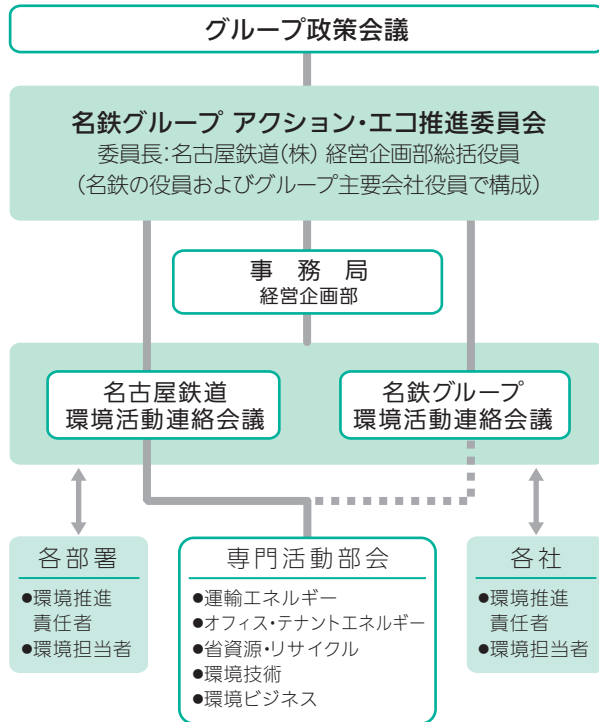
#### 行動目標

上記の基本理念・基本方針を受け、  
名鉄グループ各社毎に、環境活動における行動目標を設定します。



## 【推進体制】

名鉄グループ一体となった活動を推進するため、平成18年4月に「名鉄グループ アクション・エコ推進委員会」を設置しました。この委員会では、グループ政策会議で決定される基本方針を受け具体的な施策の立案と推進を行います。施策の実施を円滑に行うため、連絡会議の開催や、各部署・各社に配置した「環境推進責任者」「環境担当者」を通じて、活動の浸透を図っています。



## 【アクション・エコ中期計画】

名鉄グループ アクション・エコ推進委員会では、グループが一体となった環境活動を推進するため、平成21年度から3カ年を計画期間とする「アクション・エコ中期計画」を策定しました。本計画では、環境ビジネスマッチングの実施やグループ共同での環境PRの展開など、グループの連携を強化するとともに、グループ全体の環境負荷を低減するため、各社で行動目標を立て取り組むことを掲げています。

### ■アクション・エコ中期計画の概要

- 1 グループ一体となった環境活動の推進
- 2 エネルギー使用量を毎年前年度比1%削減
- 3 各社環境行動目標の設定

## 【環境マネジメントシステムの導入】

名鉄グループ各社では、より環境に配慮した事業展開を行うため、各種の環境マネジメントシステムを導入しています。これにより、環境負荷の軽減や環境リスクの予防はもとより、経営効率の向上などの効果も生まれています。

### ■ISO14001認証取得会社

会社名	取得年月	審査登録機関
名古屋鉄道(舞木検査場)	平成12年6月	JQA
矢作建設工業	平成12年8月	(財)建材試験センター
メイエレクト	平成13年6月	JQA
電通名鉄コミュニケーションズ	平成13年9月	LRQAジャパン
山梨名鉄運送	平成14年4月	JACO
名鉄ビルディング管理	平成14年6月	JQA
名鉄百貨店	平成14年8月	JQA
名鉄運輸	平成14年9月	JQA
名鉄協商	平成15年2月	ビューローベリタスジャパン(株)
名鉄クリーニング	平成15年3月	KHK
奥飛観光開発	平成17年3月	(財)日本ガス機器検査協会

JQA:(財)日本品質保証機構 JACO:(株)日本環境認証機構 KHK:高圧ガス保安協会 LRQAジャパン:ロイドレジスターワークオリティ アシュアランスリミテッド

### ■グリーン経営認証取得会社

バス	名鉄観光バス / 宮城交通
タクシー	名鉄交通 / 愛電交通 / 名鉄西部交通 / 石川交通 名鉄知多タクシー / 名鉄東部交通 / 名鉄岡崎タクシー 名鉄名古屋タクシー / 豊鉄タクシー
トラック	信州名鉄運輸 / 四国名鉄運輸 / 名鉄ゴールデン航空 東北名鉄運輸 / 柳島運送 / 名鉄急配 / 新潟名鉄 トーハイ / 三陸貨物 / 中国名鉄運送 / 北陸名鉄運輸 和歌山名鉄運輸 / 九州名鉄運輸

### ■名古屋市エコ事業所認定会社

名古屋鉄道 / 名鉄百貨店 / 名鉄協商 / 名鉄産業 / 名鉄交通商事 矢作建設工業 / メイエレクト / 名鉄環境造園
--

### ■自動車エコ事業所認定会社

名鉄バス / 名鉄協商
-------------

### ■エコアクション21認証取得会社

名鉄交通商事
--------

(平成23年6月現在)

## TOPICS

### 自動車エコ事業所の認定取得

名鉄協商では、平成21年12月に本社および駐車場センターが愛知県から「自動車エコ事業所」として認定されました。これは、8割を超えるエコカー導入率と充電設備の対外的開放が、自動車環境対策への取り組みとして評価されたものです。



# 名古屋鉄道の取り組み

名古屋鉄道は、名古屋を中心として愛知・岐阜両県下に444.2kmの鉄道路線網を持ち、お客さまの足として公共交通サービスを提供しています。地球環境問題への意識が高まる中、エネルギー効率のよい鉄道は、マイカーに比べCO<sub>2</sub>排出量が約9分の1であり、「環境にやさしい乗り物」として、その果たす役割が見直されてきています。当社は、省エネルギー車両への更新やパーク&ライド駐車場の整備、使用済み乗車券のリサイクルなどに継続的に取り組み、地球温暖化防止に努めています。

これからも、さらなる輸送サービスの向上をめざし、さまざまな交通事業者との連携や地域特性を生かした交通ネットワークの充実を図るとともに、安全で快適な移動環境を提供することで、お客さまの利便性と満足度を高め、地域社会に貢献していきたいと考えています。



## 【名鉄エコ・プラン】

平成19年4月に環境活動の基本的な考え方を示す環境方針「名鉄エコ・プラン」を制定しました。各部署は、この方針をもとに、それぞれの業務の中で発生する環境負荷の把握を行い、それを軽減させるために取り組める内容を「エコ・マニフェスト」として設定しています。

### 名鉄エコ・プラン

#### 行動指針

#### 1 環境負荷の軽減

省エネルギー、リサイクルなどの目標を掲げ、温室効果ガスを削減します。

- 運転電力削減目標を達成します。
- 使用済み乗車券のリサイクル率100%を達成します。

#### 2 利便性の向上

効率的で利便性の高い公共交通サービスを提供し、環境にやさしい鉄道の利用を促進します。

#### 3 地域環境貢献

地域の皆さまとともに環境保全活動を推進し、環境にやさしい地域社会づくりに貢献します。

#### 4 環境法令の遵守

環境問題に対する意識を高め、環境法令の遵守を徹底します。

#### 行動目標

各部署が環境行動目標を設定し、「エコ・マニフェスト」として部署長が宣言し、実行する。

## エコ・プラン行動指針1 環境負荷の軽減

### 電車の運転電力原単位の向上

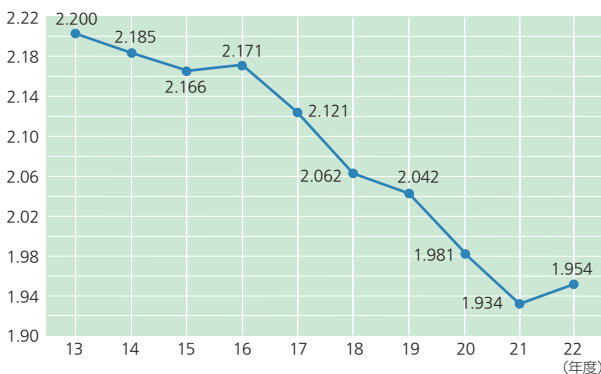
電車の運行では、非常に多くの電力を消費します。なるべく少ない電力で運行ができるよう、乗務員の節電運転研究や、線区ごとの省エネ活動組織（運輸エネルギー部会）での取り組みのほか、車両自体の省エネルギー化の推進や電気設備の改良を行い、原単位※の向上に努めています。

平成22年度は、車両走行キロの減少や新型車両の導入、効率的なダイヤ・車両編成に努めたほか、乗務員が節電を意識した運転操作に心がけましたが、猛暑や雪の影響に伴い、原単位は増加した結果となりました。今年度も引き続き、以下のような目標を設定し、原単位の向上に努めていきます。

※車両1両が1km走行するのに要する電力量

平成26年度の電車の運転電力原単位を、  
全線で平成21年度比▲5%をめざします。

#### ■1車両1キロあたりの電力使用量の推移 (kWh/Car-km)



### 車両の省エネルギー化

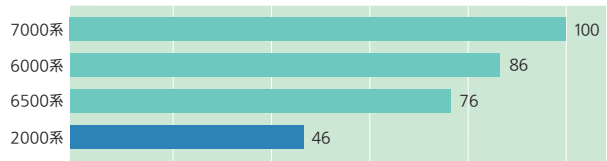
省エネの観点から、旧型車両の計画的な更新を進めています。ブレーキ時にモーターを発電機として作用させ、生み出された電力を架線に戻し、他の電車が加速する際その電力を使えるようにできる「電力回生ブレーキシステム」や、架線から受ける直流電流を交流に変換し、効率よく電力の使用ができる「VVVFインバータ制御」機能を搭載した省エネルギー車両への更新により、消費電力の削減を図っています。

平成22年度はVVVFインバータ制御を搭載した車両を4両新造しました。今後も快適性の向上とともに、省エネルギー車両の導入を推進していきます。

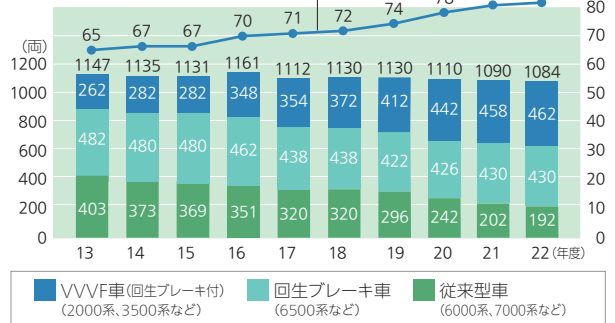
#### 平成22年度末現在

車両数 ----- 1,084両  
省エネルギー車両数 ----- 892両  
省エネルギー車両導入率 ----- 82%

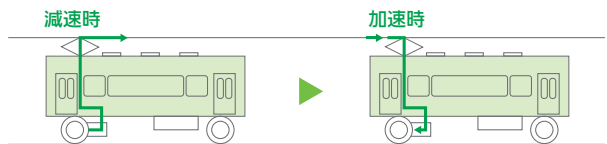
#### ■名鉄の車両別消費電力の比較 (指数〔7000系=100〕)



#### ■省エネルギー車両の推移



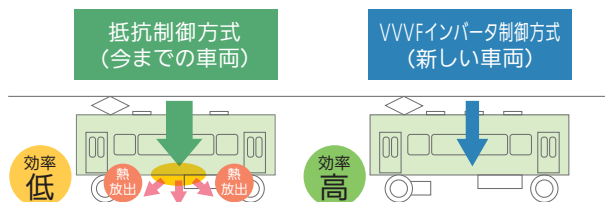
#### ■電力回生ブレーキシステムの仕組み



ブレーキ時に、モーターを発電機として作用させ、発生する電力を架線へ返す。

回生された電力をもらって加速する。

#### ■VVVFインバータ制御の仕組み



抵抗器を用いて電力量の調節を行っていたため、抵抗器の発熱によって電気エネルギーを無駄に消費してしまう。

少ない消費電力で、速度に応じて電圧や周波数を調整し、最適な制御を行い、電気を効率よく使って、省エネ運転が可能。

### TOPICS

#### 車輪フラット検出装置

メイレックでは、車輪踏面に発生したフラット・剥離・熱亀裂を早期発見する装置を、名古屋鉄道と共同開発で平成11年に導入し、騒音・振動低減と業務効率化に大きく寄与しており、他の鉄道会社にも導入されています。(特許登録済)

お問合せ 株式会社メイレック  
技術開発部 鉄道技術課 052-678-1895



センサー設置状況

## 電気施設の省エネルギー化

鉄道事業において非常に多く使用する電力を、最大限効率よく使用し、地球温暖化防止に貢献するため、電気施設の省エネルギー化を推進しています。

### ■ 力率改善コンデンサーの設置

大容量の電力を直接、電力会社から購入し、沿線35ヵ所に設けた自社変電所で受電し、主に電車の運転エネルギーとして使用しています。受電した電力を効率よく使用するため、変電所に力率改善コンデンサーを設置し、エネルギー効率の向上を図っています。平成5年から順次進めており、現在11の変電所で使用しています。

### ■ き電線の強化

架線に流れている電車運転電力の送電ロスを低減させるため、き電線を太くするなどの強化を進めています。当社ではほとんどの線区で上下一括き電方式を採用しています。この方式は、上り下りの架線を接続して電力を供給する方式で、走行中の電車まで効率良く電気を流すことができます。また、回生電力を上り下りの電車に限定されることなく、有効に使えるメリットもあります。



電気保守作業

### ■ 騒音の低減化

変電所の新設や大規模改良工事の機会に合わせて、防音壁等の設置や屋内型機器の採用により、変圧器のうなり音や開閉装置等の動作音による騒音の低減を図り、周囲の環境に配慮しています。



屋内型機器を採用した各務原変電所

### ■ 信号機および踏切灯器のLED化

信号機および踏切灯器で使用する電球のLED化を順次進めており、平成23年3月時点では全信号機の34%に導入しています。LEDは電球に比べ消費電力が少なく、長寿命であるだけでなく、視認性にも優れているため、今後も新設または更新の際にはLED化を積極的に進めていきます。



LED化した信号機

## 沿線環境保全

### ■ ロングレール化

レールには継目があり、継目の上を列車が通過することにより、騒音と振動が発生します。これを軽減するため、継目を溶接し、1000m前後の長さにするロングレール化を各所で進めており、全線で259.1kmに導入しています。

#### 平成22年度ロングレール施工実績

1.0km(累計施工実績全線で259.1km)



土木保守作業

### ■ レールの重量化

レールを重いものにする事で列車の走行性が安定し、乗り心地が向上するほか、騒音・振動の減少にも効果があります。本線軌道長のうち99%が重レール(50kg/m以上のレール)になっています。

### ■ レール削正車の導入

線路の保守管理の新しい手法として、車体の下に装着された16個の砥石を高速回転させ、レールの細かな傷や凹凸を削り取るレール削正車を導入しました。これにより、レール寿命の延伸、騒音・振動の軽減や乗り心地の向上を図っています。



16頭式レール削正車

## TOPICS

### 軌条踏面塗油装置

メイエックでは、列車が急曲線部を通過するときには発生する、周波数の高い不快な「きりり音」の低減装置を名古屋鉄道と共同開発し、昭和62年より随時導入し、騒音低減に大きく寄与しています。

**お問合せ** 株式会社メイエック  
技術開発部 機器課 052-678-1843



装置設置状況

## リサイクルの取り組み

名古屋鉄道では早くから、使用済み乗車券のリサイクルに積極的に取り組んできました。平成8年度にリサイクルシステムを稼動してから段階的にリサイクル処理量を増やし、平成18年度には初めてすべての使用済み乗車券(定期券およびカード類含む)をリサイクルすることに成功しました。

紙製乗車券の大部分は、マテリアルリサイクルを行っています。名刺などの事務用品をはじめ、駅のベンチや分別ボックス、トイレトーパーへの再生も積極的に行うとともに、リサイクルシステムを他の鉄道事業者などへも広げています。(平成22年度末時点20社局)

平成22年度は、使用済み乗車券が29t発生、すべてをリサイクル処理し、使用済み乗車券を原料に製作したリサイクルベンチの背、座板を各42枚、41枚設置しました。

平成22年度乗車券リサイクル率 **100%**



乗車券リサイクルベンチ



乗車券リサイクルトイレトーパー

## オフィスでのエコ活動

オフィスでの環境活動は、廃棄物の分別から省エネルギー、グリーン購入に至るまで、さまざまです。身近で幅広いオフィスでの取り組みは、企業の環境活動の基本として位置付け、継続的に取り組んでいます。

### ■多分別ボックスの設置

オフィスで発生する多種多様の廃棄物を、資源として可能な限り有効に活用するため、多分別ボックスの設置を行っています。本社事務所では、10種類に分別し、廃棄物のリサイクル率向上を図っています。



多分別ボックス

### ■グリーン購入方針の策定

環境に配慮した資材や物品の購入を行うグリーン購入を進めています。当社では、平成15年に購入の際の指針となる「グリーン購入方針」を策定しています。

平成22年度グリーン購入率 **78%**(金額ベース)

#### 名古屋鉄道グリーン購入方針

製品を購入する際には、次の項目に留意して、できる限り環境負荷の少ない製品の購入に努める。

1. 環境汚染物質の有無の確認
2. 省エネルギー製品の優先的購入
3. 長寿命製品の優先的購入メンテナンスの容易性など、できる限り長期間使用できる工夫のされている製品を優先的に購入する
4. リユース・リサイクルの推進
5. リサイクル製品の優先的購入
6. 廃棄の際に環境負荷の少ない製品の優先的購入
7. 環境に関する情報を入手しやすい製品の優先的購入

## TOPICS

### 電気高効率水冷チラーへの更新

平成22年1月に国土交通省「既設住宅・建築物省エネ改修緊急促進事業」の補助金を得て、神宮前駅西口ビル内のガス焼き・油焼きの冷温水発生機を電気高効率水冷チラーへ更新しました。また冷温水ポンプのインバータ化や、誘導灯の一部を高効率照明へ切り替えることで、全CO<sub>2</sub>発生量の27.2%を削減することができました。今後も順次省エネ機器を導入し、地球温暖化防止に貢献していきます。



電気高効率水冷チラー

## ■クールビズ・ウォームビズの実践

名古屋鉄道では平成17年から、環境省が地球温暖化防止行動として提唱している「クールビズ」「ウォームビズ」を毎年実践しています。夏季は6月から9月の4カ月間(本年は東日本大震災による節電対策に伴い、5月中旬から10月の5カ月間を予定)、本社を中心とした部署で、空調温度を高めめに設定し、軽装による勤務を実施しています。冬季は12月から翌年3月までの4カ月間、「ウォームビズ」に取り組んでいます。

## その他の取り組み

### ■自然エネルギーの利用

駅や駅ビルの設備において、太陽光や雨水など、自然エネルギーを利用しています。

尾張瀬戸駅では、平成13年から太陽光発電パネルおよび雨水タンクを設置し、駅の照明の一部、トイレの洗浄水を賅っています。また名鉄新一宮ビル(名鉄百貨店一宮店)および名鉄長住町ビル(岐阜ロフト)でも、雨水を雑用水の一部に活用しています。

#### 平成22年度実績

太陽光発電 1,074kWh

雨水使用量 12,672m<sup>3</sup>



太陽光発電パネル(尾張瀬戸駅)



雨水タンク(尾張瀬戸駅)

## ■コジェネレーションシステムの導入

名鉄新一宮ビルにはガスコジェネレーションシステムを導入しています。このシステムは、都市ガスで自家発電を行うとともに、発電時に出る排熱も有効利用できます。エネルギー効率は、電力会社から送られてくる電力が35%程度であるのに対し、このシステムでは70~90%となっています。

また、名鉄名古屋駅および本社、名鉄バスセンターのあるビルでは、ガスコジェネレーションシステムを活用した地域冷暖房を導入しています。



名鉄南地域冷暖房プラントビル

## ■節水トイレの導入

平成22年10月、環境にやさしい駅の整備の一環として、中部国際空港駅の4台と金山駅の7台のトイレ小便器に、節水型小便器を導入しました。

今回導入した節水型小便器は従来型と比較して、洗浄水をリサイクルさせることにより水道水の使用量を約90%節減でき、これにより水道水を使用する際に排出されるCO<sub>2</sub>も同時に削減されます。また、洗浄水には「洗浄」・「消臭」・「除菌」の効果を持った洗浄液が含まれており、臭気をカットします。

今後も当社は、環境にやさしく快適にご利用していただける駅の整備を進めていきます。



節水トイレ(中部国際空港駅)

## ICカードシステム

名古屋鉄道、名鉄バス、豊橋鉄道では、名古屋市交通局（地下鉄・市バス）、名古屋臨海高速鉄道（株）（あおなみ線）、名古屋ガイドウェイバス（株）（ゆとりーとライン）でも利用できるICカード乗車券「manaca」を平成23年2月11日に導入しました。

manacaは繰り返し使えるエコなカードであり、事前にチャージ（入金）しておけば、自動改札機やバス運賃箱にタッチするだけで運賃を自動的に差し引くことができ、定期入れなどから取り出す必要もないほか、マイレージポイントの導入や電子マネー機能の付加などにより、お客さまの利便性を高めています。

他カードとの相互利用については、平成24年春にJR東海の「TOICA」との乗車券機能の相互利用を実施します。さらに、平成25年春にはJR東日本の「Suica」・関東公民鉄の「PASMO」など全国10の交通系ICカードによる相互利用を実施する予定です。



ICカード乗車券「manaca」

## パーク＆ライド駐車場・駐輪場の整備

マイカーの利便性と鉄道の環境効率のよさを組み合わせた「パーク＆ライド駐車場」の整備を積極的に進め、その活用をお客さまに呼びかけています。移動手段をマイカーから鉄道に切り替えていただければいただけるほど、地域の環境負荷軽減につながります。より多くのお客さまに最寄りの駅の駐車場にマイカーを止め、駅からは鉄道をご利用いただけるよう、沿線に約2万2千台の駐車場を整備するとともに、「パーク＆ライド」利用者向けにおトクなプリペイドカードの販売も行っています。

### 平成22年度新規整備台数

**駐車場** 33台（鳴海駅）、21台（三河八橋駅）、  
20台（柴田駅）、19台（新舞子駅）



パーク＆ライド駐車場（鳴海駅）

## 「パーク＆ライド割引」サービス

名古屋鉄道と名鉄協商では、名鉄電車とICカード「manaca」利用促進および、名鉄協商の駐車場の利便性向上を目的に、manacaを使った「パーク＆ライド割引」サービスを名鉄協商パーキング「豊橋西」および「新鵜沼」において新しくスタートしました。このサービスは、上記駐車場を出庫する際、駐車場の最寄駅の降車情報（駐車した日と同日に限る）が記録されたmanacaを専用端末にタッチすると、自動的に駐車料金から一定金額が割り引かれるものです。

両社では「パーク＆ライド」を積極的に推進しており、今後もさまざまなサービスを通して、「パーク＆ライド」の更なる普及を図っていきます。



パーク＆ライド割引対応精算機

## 「名鉄たまルン」ポイント

「名鉄たまルン」は、名古屋鉄道・名鉄バス・豊橋鉄道等でお買い求めいただける名鉄manacaだけのサービスで、カードの裏面に「株式会社エムアイシー」と書かれているmanacaでご入会いただけます。

manacaは、「名鉄たまルン」に入会していただくことで、「名鉄たまルン」加盟店での電子マネー利用のたびに「名鉄たまルン」ポイントがたまります。たまった「名鉄たまルン」ポイントは、チャージ券と交換して、manacaにチャージすることで、通常のカード残額として、電車・バスのご乗車や乗車券の購入、お店でのお買い物などにご利用いただけます。



### 沿線での清掃奉仕活動

名古屋鉄道は駅をはじめ沿線を中心に、多くの事業所が点在しています。事業所が所在するそれぞれの地域の皆さまと、よりよい関係を保ち、共存させていただくため、環境面での社会貢献活動も積極的に行っています。

例えば、本社周辺では「名駅をきれいにする名鉄グループの会」を立ち上げ、名鉄グループの各社とともに毎月第2・第4月曜に名古屋駅前の清掃活動を行っています。

犬山検査場では、名鉄エコ・プランの行動指針の一環として、地球環境への貢献を目的に検査場周辺の清掃活動を定期的に実施しています。



「名駅をきれいにする名鉄グループの会」の清掃活動



沿線での清掃奉仕活動

### 知多半島生態系ネットワーク協議会への参画

名古屋鉄道は、平成23年1月より知多半島地域において、生きものの生息・生育空間を適正に配置し、つながりを確保する「生態系ネットワーク」の形成を推進し、将来にわたって生物多様性の確保に寄与することを目的とした「知多半島生態系ネットワーク協議会」に参画しています。この地域は新見南吉の童話「ごん狐」の里で知られ、昭和30年代に絶滅したと思われるものの、昭和60年頃以降、生息確認例が出はじめています。当社では今後も保全活動・活動場所の提供・活動への支援を検討していきます。

### 経済産業省「次世代エネルギー・社会システム実証地域」 豊田市低炭素社会システム実証 推進協議会に参画

名古屋鉄道は、平成22年8月より豊田市や民間企業など27団体とともに「豊田市低炭素社会システム実証プロジェクト」を実施しています。

これは経済産業省の「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に選定された豊田市を「環境モデル都市」として、日本発信型の地方型低炭素社会システムを構築するための実証プロジェクトであり、生活者の行動動線に沿った生活圏全体でのエネルギーの最適化と低炭素交通システムの構築をめざすものです。

当社グループは、この実証プロジェクトを通じて、電車やバスの利用促進やP&R（パーク&ライド）の推進など、低炭素交通システムの構築に向けた取り組みを行っています。

### 環境コミュニケーションの推進

ポスターや広報誌、環境イベントなどを通じて当社の環境活動を広くご理解いただけるよう努めています。特に、今年度は東日本大震災に伴い、節電に関するPRポスターを掲示し、当社内への呼びかけを広めています。

また、「名鉄でんしゃまつり」では会場内で当社の環境活動を紹介したほか、クイズラリー形式で楽しく環境について学ぶ企画を実施しました。今後も地域の皆さまと環境について考える活動を進めてまいります。



節電ポスター



## 環境教育

従業員一人ひとりが環境問題や環境法令に対して正しい認識を持つことが、活動の基礎として最も重要であると考え、全従業員に対して、定期的に環境教育を実施しています。(新規採用時、入社10・20年経過時、昇級時等)

### ■平成22年度 環境教育(研修)受講者数

新入社員研修	160名
総合職中途採用者研修	—
入社10・20年次研修	315名
合計	475名

## 改正省エネ法への対応について

名古屋鉄道は、平成18年4月に改正された省エネ法に基づき、特定輸送事業者として、鉄道事業に係る省エネルギー計画書および毎年のエネルギー使用量の報告を行っています。

また、平成21年4月に改正された省エネ法に基づき、平成22年度分の当社全体のエネルギー使用量を届出しています。

## PCB廃棄物への対応について

カネミ油症事件に端を発し、製造が禁止された絶縁油「PCB」は、変圧器や整流器、蛍光灯の安定器等で多く使用されており、機器の使用中止後も専用の処理施設以外での廃棄処分は認められていません。

当社でも柱上トランスや、車両、ビルの電気室などでPCB使用の電気機器があり、使用後は厳重に保管をしています。平成20年1月に当社の廃棄物の処理が始まり、法で決められた処理期限(平成28年7月)までに完了する予定です。



PCB廃棄物の搬出作業

## 「パーク&ライド」で環境にやさしく!

「パーク&ライド」とは、会社や学校などの目的地に、直接クルマで行くのではなく、最寄りの駅やバス停近くの駐車場にクルマを停めて、鉄道やバスに乗り換え、目的地に向かう移動方法のことです。

### ■パーク&ライドのメリット

渋滞する場所に行く前に乗り換えるので

- ・環境負荷を低減できる
- ・運転でイライラせずに済む
- ・鉄道や地下鉄で予定時間までに確実に早く着ける
- ・目的地で空き駐車場を探し回らなくて済む
- ・都心や観光地の中心部の割高な駐車料金を払わなくて済む



国府宮駅前パーキング



環境にやさしい移動、  
あなたも始めてみませんか?

名古屋鉄道では、パーク&ライドに適した駐車場を沿線に約2万2千台分用意しています。

## 【環境負荷データ】

事業活動において、電力をはじめとしたエネルギーや資源を消費し、温室効果ガスや廃棄物を排出しています。これらの環境負荷をINPUT・OUTPUTとして把握し、環境負荷を低減する活動につなげています。

### INPUT



電気

452百万kWh



都市ガス

247千m<sup>3</sup>



プロパンガス

28千m<sup>3</sup>



A重油

258千ℓ



ガソリン

136千ℓ



灯油

162千ℓ



軽油

91千ℓ



熱

26,739GJ\*



紙(A4換算)

5,338千枚



水

412千m<sup>3</sup>

\*GJ(ギガジュール)とは、仕事量、熱量および電力量の単位であるJ(ジュール)の10<sup>9</sup>倍に相当します。

### OUTPUT



CO<sub>2</sub>

209千t-CO<sub>2</sub>



一般廃棄物

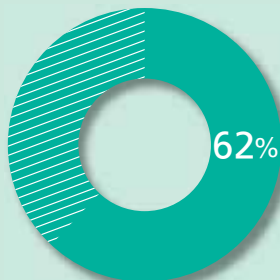
3,139t

うち

リサイクル

1,958t

リサイクル率



産業廃棄物

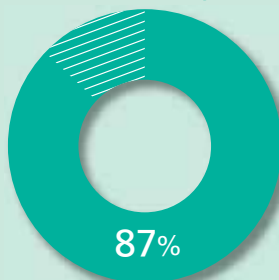
1,013t

うち

リサイクル

892t

リサイクル率



乗車券類

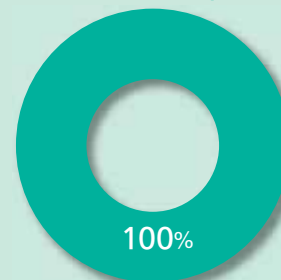
29t

うち

リサイクル

29t

リサイクル率



・名古屋鉄道線のみの数値。 ・数値は、切り下げて表示。 ・産業廃棄物の数値には、乗車券類の数値を含まない。  
 ・二酸化炭素排出原単位の算定は地球温暖化対策推進法に基づく「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に準拠。

## 【環境会計】

環境保全への取り組みを、投じたコストやその効果への両面からできるだけ定量的に把握し、効率的かつ効果的に環境活動を行うため、環境会計を導入しています。

平成22年度の環境保全のための投資額は50億59百万円、費用額は4億88百万円でした。新型車両の導入・電気設備の改良等による省エネルギー化やICカード導入、駅施設のバリアフリー化、環境教育やイベントを通じた啓蒙など、環境保全に対して積極的な活動を行いました。今後も環境保全コストの管理やその効果の分析を行うことにより、より一層効果的な環境保全活動に取り組んでいきます。

### ■環境保全コスト

(単位:千円)

内容		投資額	費用額
(1)事業エリア内コスト		5,059,449	384,239
内訳	①公害防止コスト	騒音対策:ロングレール化、PCマクラギ化、レールの重量化、防音車輪導入など 水質汚染対策:排水・汚水処理設備の設置、改修など	234,836 111,092
	②地球環境保全コスト	駅施設のバリアフリー化、新型車両の導入、ICカードの導入、き電線改良、シリコン整流器更新、VVVF制御化など	4,824,612 184,036
	③資源循環コスト	廃棄物処理・処分、廃棄物のリサイクルなど	0 89,111
(2)上・下流コスト		グリーン購入	0 54,949
(3)管理活動コスト		人件費、会議費、ISO活動維持費、環境教育費用、環境報告書の作成、イベント費用など	0 48,746
(4)社会活動コスト		環境保全を行う団体への支援など	0 160
環境保全コストの合計		5,059,447	488,095

### ■環境保全効果

効果の内容		環境保全効果を示す指標	
		指標の分類	指標の値(量)
(1)事業エリア内で生じる環境保全効果 (事業エリア内効果)	①事業活動に投入する資源に関する効果	鉄道電力	△4,187,289kWh
		太陽光発電	1,076kWh
		水道水	12,672m <sup>3</sup>
(2)上・下流で生じる環境保全効果 (上・下流効果)	②事業活動から排出する環境負荷 および廃棄物に関する効果	使用済み乗車券のリサイクルによる 廃棄物抑制量	29t
		(3)その他の環境保全効果	③事業活動から算出する財・サービスに関する効果
(3)その他の環境保全効果	④輸送その他に関する効果	—	—

### ■環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		金額
収入	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品等のリサイクルによる事業収入	145,132
費用	省エネルギーによるエネルギー費用削減	△44,959
	省資源またはリサイクルに伴う廃棄物処理費用の削減	3,771
合計		103,945

○集計期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日

○集計範囲:名古屋鉄道㈱の事業範囲

○確実に把握が可能で、環境目的が高い項目を計上

○金額は税抜き、千円未満を切り捨てて表示

○環境省「環境会計ガイドライン」および(社)日本民営鉄道協会「民鉄事業環境会計ガイドライン」に準拠

○事務用品におけるグリーン購入費用は全額計上

○費用に減価償却費は含まず



# 名鉄グループの取り組み



## 交通・運送

Traffic & physical distribution

運輸部門では、鉄軌道をはじめ、乗合バス、観光バス、タクシー等の旅客輸送事業や、トラック、海運、航空等の事業を中心に、幅広く地域の皆さまの生活に根ざした事業を展開しています。

### “沿線花いっぱい運動”の実施

豊橋鉄道グループでは、地域の皆さまから信頼され親しみをもって利用していただくための環境づくりを進めており、グループの環境推進運動として「豊鉄グループ グリーン運動」を実施しています。その活動の一環として今年度も“沿線花いっぱい運動”を実施しました。この運動は、花をテーマに、豊橋鉄道渥美線沿線の遊休地を活用し、緑化・景観整備を行うものです。田原市「菜の花まつり」に合わせた地域連携の一環として、渥美線沿線に“菜の花畑”を整備しました。



渥美線沿線に整備した菜の花畑

#### お問合せ

豊橋鉄道株式会社 営業企画部  
0532-53-2131

### 輸送効率向上による環境対策への取り組み

名鉄運輸では、CO<sub>2</sub>の削減や環境対策強化の一環として、アイドリングストップ車など低燃費車の導入に努めています。長距離を走行する路線運行車には全車両エコタイヤを装着するとともに、デジタルタコグラフの装着を進め、ドライバーの経済走行に対する意識向上を図っています。

また、エコドライブ研修会に乗務員を積極的に参加させ、省エネ運転の指導を通しての燃費向上も図っています。

一方では、グループ間での重複配達エリアを見直し、再編を行うことを通じて輸送効率を向上させることがCO<sub>2</sub>総排出量の抑制に繋がるため、この面でも環境負荷軽減に努めています。



アイドリングストップ車

お問合せ 名鉄運輸株式会社 総務部 052-935-5721

### エコドライブの取り組みとグリーン経営認証

名鉄ゴールデン航空では、ドライバー一人ひとりが給油毎に燃費計算をし、燃費向上の意識を持ち、エコドライブ運転に努めています。

前期は、一回における給油を30リットルと制限した結果、前年度に比べ約84千リットルの燃料消費の削減となり、燃費意識の向上とCO<sub>2</sub>の排出抑制につながることができました。今期も引き続き取り組んでいきます。

また、グリーン経営認証を6店舗で取得し、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。認証を取得した店舗だけに限らず、全営業所において、グリーン経営認証に沿ったエコドライブ運転を推進しています。



お問合せ 名鉄ゴールデン航空株式会社 03-5606-1701

### 産廃プロフェッショナル認証とリサイクル事業への取り組み

東京名鉄カーゴサービスでは、平成15年より1都9県で産業廃棄物収集運搬許可を取得し、平成20年には「エコステージ認証」を、平成21年には東京都の「産廃プロフェッショナル認証」を受け、積極的に環境負荷の低減に取り組んでいます。

アイドリングストップ等の環境対策は勿論、社内に「分別回収BOX」を設置し、「ゴミは最小限にしリサイクル率の向上を図る」を全社員で実践しています。環境負荷の軽減になると共に、経費削減にも寄与しています。

また、営業活動の一環として平成20年からは、「プライバシーマーク認証」を取得し「循環リサイクルシステム」を処理業者と構築。各企業様から排出される産業廃棄物を分別し機密書類・カタログ・伝票等を溶解処理、什器・IT機器等を破砕処理する事でリサイクル率100%を実践し、環境負荷をゼロにする事により各企業様の環境対策へも寄与しています。



お問合せ 東京名鉄カーゴサービス株式会社 03-5676-0741

### バイオディーゼルバスを導入

名鉄バスでは、捨てられる油(天ぷら油など)を再利用した燃料で動くバイオディーゼルバスを導入しています。元々、生物から出来た油を再利用しているため、石油などの化石燃料と異なり、バイオディーゼル燃料は、二酸化炭素を元々大気内に存在していた以上に発生しません。リサイクルしてさらに空気を汚さない、地球に、人にダブルで優しい燃料を使うことで、環境負荷軽減に寄与していきます。 ※名鉄バスでは、名鉄グループ内のホテル・レストラン・遊園地などの飲食施設等から回収した使用済みてんぷら油(植物油性廃食用油)を使用しています。



#### お問合せ

名鉄バス株式会社 管理部  
052-588-0780

### 路線バス停留所にソーラースポットライトを導入

名鉄バスでは、平成22年3月に、一般路線・空港線の全停留所約2400ヵ所に、時刻表を照らすソーラースポットライトを導入しました。このライトは、同社が開発に協力し、東洋ライト工業(株)が発売する「光光息子(こうこうむすこ)II」で、日中に太陽光パネルで発電した電気をニッケル水素電池に蓄え、日が陰った後、人が近づくとセンサーが感知して発光ダイオード(LED)が点灯し、時刻表を照らす環境にやさしい照明です。これにより、夜間に時刻表が見やすくなることに加え、防犯灯の役割も期待できます。



お問合せ 名鉄バス株式会社 管理部  
052-588-0780

ソーラースポットライトを導入した停留所

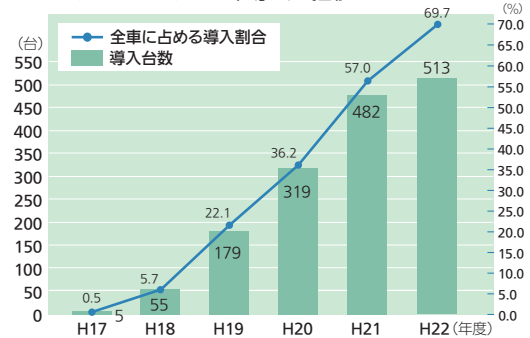
## アイドリングストップ車の導入

名鉄交通では、平成17年度から車両代替時にアイドリングストップ機能つき車両導入を積極的に進めています。平成22年度は31台の導入し、全車両の約70%がアイドリングストップ車となりました。

平成23年度も引き続き積極的な導入を行い、CO<sub>2</sub>削の排出削減と燃費の向上に努めていきます。

**お問合せ** 名鉄交通株式会社 グリーン経営推進室 052-331-2221

■ アイドリングストップ車導入の推移



## 不動産・技術

Real estate & technology

不動産部門では、土地建物の販売・賃貸借、不動産の仲介業、建築工事の設計・施工・監理などの事業を展開しています。また、情報・電気・通信等の分野で幅広く技術開発およびサービス提供を行っています。

## EGPについて

ヤハギ緑化では、芝生駐車場「EGP」(Ecological Grass Parking)の普及を推進しています。自動灌水装置の標準装備や既存舗装上への直接施工を可能にするなど、技術向上に努めてきました。従来は、工場立地法や地域緑地制度の緑地面積確保対策として多く採用されてきましたが、最近では都市緑化への助成制度も整備されつつあり、民間企業等への環境提案も積極的に行っています。また、ウェスティナゴヤキャッスルでの取り組みを始めとした産官学協働の都市緑化実験にも参画しており、都市環境や景観・防災・生物多様性を軸に地域貢献していきたいと考えています。

**お問合せ** ヤハギ緑化株式会社 緑化事業本部 052-937-6551



芝生駐車場

## 太陽光発電システムの導入

メイエックは、環境負荷の軽減を図るため、本社南館屋上に太陽光発電設備を設置しました。これは、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の太陽光発電新技術等フィールド事業に採択され、貴重資源であるシリコン使用量が少なく、済む薄膜太陽電池パネルの、データ収集・分析について共同研究を行うものです。1日当たり快晴時で約100kWhの発電量があります。太陽光発電データをリアルタイムでNEDOに送付し、それを最適なシステム構築のための資料としています。

今後、この共同研究を通じ、環境に対する意識をさらに高め、太陽光発電の普及に貢献していきます。

**お問合せ** 株式会社メイエック 第1営業部 052-678-1773



太陽光発電設備



流通部門では、百貨店事業や、小売事業、駐車場・カーリース事業など、多岐にわたって事業を展開しています。

さらにレジャー・サービス部門では、ホテル事業やアミューズメント事業、博物館明治村をはじめとした文化テーマパーク事業や、ロープウェイ事業などを展開しています。

## 節電対策の取り組み

名鉄百貨店では、東日本大震災の影響による全国的な電力不足に対し、弊社としてできる節電対策について真摯に考えています。

事務所・ストックについては、一人ひとりが必要最小限の照明をつける、使用後は必ず電源を切るのももちろん、パソコンのコンセントを抜き待機電力を減らすよう徹底し、照明の多い場所については、蛍光管の間引きも行いました。

また、店舗については、お客さまがお買い廻りされる視点にたち、照明効果を考えながら、蛍光管の間引き、LED電球の導入も進めています。

**お問合せ** 株式会社名鉄百貨店 施設部ISO担当 052-585-2470



左-LED 右-ダイクロハロゲン

## カーシェアリング・サービス「カリテコ」の実施

名鉄協商では車を利用し、情報を駆使したエコなサービス「car+it+eco」=カリテコがサービスを展開しています。車をシェア（共有）する事により、CO<sub>2</sub>削減・渋滞緩和や交通事故の減少に繋がります。

平成23年6月1日にはリニューアルを行い、システムを一新し、料金もお客さまにお求めやすくなりました。さらに新サービスとして、名鉄発行のマナカでカリテコの登録が可能になり、よりシームレスな公共交通機関との連携が可能になりました。

現在はステーション数66カ所、車両台数75台（2011年8月末日現在）となり、今後も順次エリアを拡大していく予定です。



**お問合せ**  
名鉄協商株式会社 カーシェア事業部 052-582-2495



カリテコステーション

## 「MEITETSU ECO DIESEL OIL」を販売

名鉄産業では、平成20年7月から名鉄グループのバス・トラック会社を中心とした運輸会社向けエンジンオイル「MEITETSU ECO DIESEL OIL」を販売しています。このオイルは、「名鉄」の名を冠した名鉄産業初のPB商品で、従来の製品より交換サイクルを長くすることが可能となり、整備費や廃油排出量の削減につながるほか、平成15年規制の排出ガス規制に対応した環境にやさしいエンジンオイルです。

すでに名鉄バス、名鉄観光バス、宮城交通、名鉄運輸などが採用しており、またグループ内外の運輸会社へ広く採用されるよう積極的に提案中です。

**お問合せ** 名鉄産業株式会社 エネルギー事業部 052-821-1292



MEITETSU ECO DIESEL OIL

## CO<sub>2</sub>排出削減事業の認証取得と国内クレジットの移転(売却)

名鉄クリーニングは、平成21年7月に、国内クレジット認証委員会(経済産業省主管)において、CO<sub>2</sub>排出削減事業の認証を取得しました。国内クレジット制度とは、CO<sub>2</sub>の削減を義務づけられている大企業(自主行動計画参加企業)が、義務づけのない中小企業(自主行動計画非参加企業)のCO<sub>2</sub>削減事業に対し、資金・技術面の支援を行い、これによって削減できた実績をCO<sub>2</sub>1t当たりの契約単価で購入する制度です。

同社では、補助金を活用したESCO事業により導入した高効率貫流式ガスボイラーによって燃料の節減を図ると共に、従来に比べ年間約1000tのCO<sub>2</sub>削減が実現されており、平成21年度から毎年この排出権を売却しています。(平成24年度まで)

**お問合せ** 株式会社名鉄クリーニング 052-501-5511



貫流式ガスボイラー

国内クレジット制度排出削減事業 承認証

## お子様が夢中になれる団体向け環境体験プログラムの実施

ビーチランドにやってきたイルカたちが、トレーナーの合図でジャンプするようになるまでの話や、知多半島周辺に産卵にやってくるアカウミガメの生態についての話など、海に生きる生物について学ぶことができる「海の生きもの講座」や、普段見ることのできない水族館の裏側を見学できる「バックヤードツアー」、獲った魚をその場で食べることができ、切り身でしか見たことがない子供たちが、命や環境について勉強することができる「地引網体験」など、南知多ビーチランドでは、生きものから楽しい思い出を作ることによって、生きものの味方になってもらえるような環境体験プログラムを豊富にご用意しています。

**お問合せ** 南知多ビーチランド 0569-87-2000



地引網体験

バックヤードツアー

## 使用済み天ぷら油のリサイクル活動

名鉄産業では、平成20年2月から使用済み天ぷら油を自社飲食店の他、名鉄レストランなどから回収し、それを提携会社にて環境にやさしい「100%のバイオディーゼル燃料」にリサイクル・再資源化する取り組みを行っています。軽油と比べCO<sub>2</sub>削減効果があり、地球温暖化防止の一助に役立っています。「バイオディーゼル燃料」は、路線バスの運行用として名鉄バスへ供給しています。

一方「環境・エネルギー」をテーマとしたメッセナゴヤ2010では、屋内ブースで使用済み天ぷら油を環境にやさしいバイオディーゼル燃料にリサイクルする取り組みをパネル展示等した他、屋外ブースでは使用済み天ぷら油の回収活動を実施し、500mlのペットボトルに入れて持参して頂いたお客さまに、新しい食用油(265g)をプレゼントする取り組みを行いました。

**お問合せ** 名鉄産業株式会社 エネルギー事業部 052-821-1292



リサイクル工場

### TOPICS

#### ～エコモビリティライフ提案キャンペーン～『アイ・ミーブをちょっとカリテコ』を実施しました

名古屋鉄道と名鉄協商では、三菱商事、三菱自動車工業、中部三菱自動車販売(以上、三菱グループ)と共同で、名古屋市都市部(名駅、栄地区)などにおいて、2010年10月8日～12月31日まで、環境にやさしい移動生活についての提案キャンペーン『アイ・ミーブをちょっとカリテコ』を実施しました。



このキャンペーンは、名鉄協商の運営するカーシェアリング「カリテコ」と三菱自動車の電気自動車「アイ・ミーブ」を組み合わせることで、その利便性・快適さを実体験いただくことを通じて、「鉄道(公共交通)+カーシェア+電気自動車」という、環境にやさしい移動生活(エコモビリティライフ)の一つのあり方を提案し、温室効果ガスの削減につなげていくことを目的として行ったもので、今後の普及に努めていきます。

**お問合せ**

名古屋鉄道株式会社 経営企画部 052-588-0805  
名鉄協商株式会社 カーシェア事業部 052-582-2495

# 特集 [文化的活動] 文化財保護

名古屋鉄道では、社会への貢献活動の一環として、一部を財団法人と共に、文化財保護に積極的に取り組んでいます。

## 明治村

明治時代は近代日本の基盤を築いた時代で、江戸時代から継承した優れた木造建築の伝統と蓄積の上に、新たに欧米の様式・技術・材料を取り入れ、石造・煉瓦造の洋風建築を導入し、産業革命の進行に伴って近代建築の素地を築きました。これらの建築のうち、芸術上・歴史上価値あるものも、震災・戦災などで多く失われ、ことに戦後の産業の高度成長によって生じた開発事業により、少なからず姿を消してしまいました。取り壊されていくこれらの文化財を惜しんで、その保存を図るため、旧制第四高等学校同窓生であった谷口吉郎博士（博物館明治村初代館長）と土川元夫氏（元名古屋鉄道株式会社社長）とが共に語り合い、二人の協力のもとに明治村が創設されました。

博物館明治村は昭和37年に財団法人として発足し、昭和40年の開村以来、遥々とアメリカのシアトルから移築したシアトル日系福音教会をはじめ、北海道

から移築された札幌電話交換局、京都聖ヨハネ教会堂、東京で森鷗外と夏目漱石の両文豪が相前後して住み、数々の名作を残した由緒ある建築物など、国指定重要文化財に指定された建物10棟、国登録有形文化財に指定された60余件を保存展示し、博物館の敷地も100万平方メートルを有しています。

このように明治時代の建築を保存するとともに、歴史資料を収集・保存・管理する博物館として明治村を運営公開することは、明治の新しい形と心を発見し、体験する社会教育の場、またレクリエーションの場として、文化の伝承と創造に寄与しています。



帝国ホテル中央玄関



聖ザビエル天主堂



西郷邸



## じょ あん 如庵

如庵は、茶の湯の創世期に尾張の国が生んだ大茶匠・織田有楽斎が建てた茶室で、昭和11年に国宝の指定を受けた茶道文化史上貴重な遺構です。京都山崎妙喜庵内の待庵、大徳寺龍光院内の密庵とともに、現存する国宝茶席3名席の1つです。

織田有楽斎は信長の実弟として天文16(1547)年に生まれ、波瀾に富んだ人生を送りました。有

楽の生涯を写すがごとく茶室如庵は各地を点々としましたが、昭和47年に犬山城下の佳境の地に名古屋鉄道によって移築され、「有楽苑」と名付けられました。犬山城の東にある有楽苑には、国宝茶室如庵、重要文化財旧正伝院書院、古図により復元された元庵、新しく建てられた弘庵などがあり、静かなたたずまいをみせています。



有楽苑 如庵

## リトルワールド

リトルワールドは、愛知県犬山市と岐阜県可児市にまたがる緑豊かな愛岐丘陵の中に、123万平方メートルの敷地を有し、世界で初めての野外民族博物館として昭和58年3月に開館しました。世界各地から集めた約4万点の民族資料と22カ国、31施設の野外展示家屋を有し、『生きた博物館』として、世界の生活や文化に手軽に触れ、学ぶことができ、そのすばらしさを味わうことができます。本館展示では、世界70カ国から収集した豊富な民族資料の中から約6,000点を常設展示しています。展示場は進化・技術・言語・社会・価値の5つに分かれ、展示室ごと、テーマに従って世界全体を眺めることができます。



リトルワールド

## 杉本美術館

昭和61年11月、名古屋鉄道が財団法人杉本美術館を設立し、地元出身の洋画家である杉本健吉氏の「芸術作品は、パブリックなものであり、個人の収集家によって死蔵されるのではなく、公的な場で広く一般の人々に見てもらいたい」という信念から美術館を開館しています。美術館には、絵画作品・資料・愛蔵品など約9,700点が保管されています。

杉本健吉【1905～2004 名古屋市出身】  
(平成23年4月に公益財団法人に移行しました)

「新・平家物語」より  
『あわれ月夜かな』  
21.5×23.0cm 1986

# 社会 活動報告

地域の皆さまに、  
安心、快適を提供し  
地域社会の発展に貢献します。



## 安全への取り組み

鉄道事業にとって、一番大切なものは「安全の確保」です。  
お客さまの信頼に応えるべく、日々努力し、安全・安心・安定輸送を追求しています。

### 【安全に関する基本方針と安全重点施策】

平成18年10月に「鉄道安全管理規程」を定めて安全管理体制を強化するとともに、「安全に関する基本方針」および「安全重点施策」を策定し、会社が一丸となって安全性の向上に努めています。

#### 安全に関する基本方針

会社一丸となって、安全・安心・安定輸送と快適なサービスを提供することにより、地域社会の発展に貢献していきます。

- 1 事業の推進に当っては、安全の確保をすべてに優先させます。
- 2 法令・規則を遵守し、高い倫理観を持って事業活動を行ないます。
- 3 安全意識を高く持ち、社会の変化に対応した体制をつくります。
- 4 事故が発生した場合は、一致協力してお客さまの安全を第一に行動します。
- 5 常に安全に関する知識・技能の習熟に努めます。

#### 平成23年度 安全重点施策

- 1 有責事故の撲滅を目指し、ヒューマンエラー・施設故障の削減
- 2 安全に関する情報を共有し、異常時対応力の向上
- 3 教育・訓練の充実と安全関連設備の整備継続

各部署は、安全重点施策に基づき、部署ごとの業務内容にあわせた具体的目標を作成し、取り組みを行っています。

### 【安全管理体制】

#### 経営トップによる現業職場とのコミュニケーション確保

社長や安全統括管理者をはじめとする役員は、定期的に職場巡視を実施し、輸送の安全確保の取り組み等について確認するとともに、現業職場の会議に出席し、意見交換を行うなど、現場とのコミュニケーションを確保しています。



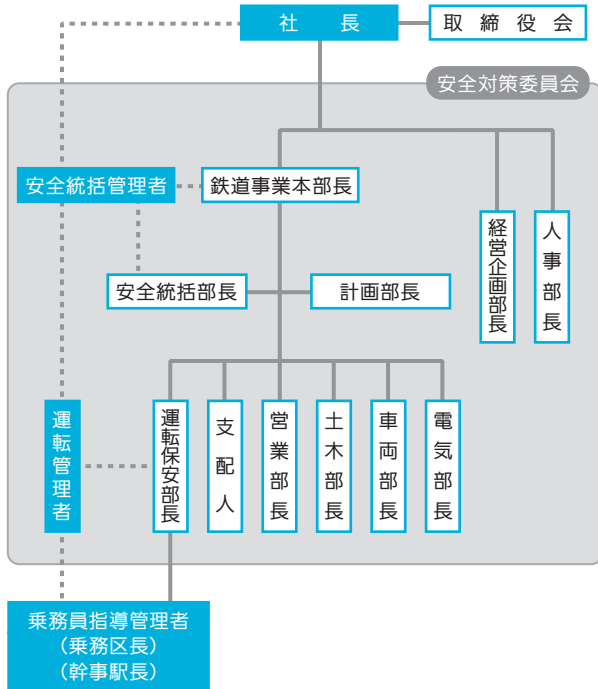
山本社長による職場巡回

## 安全管理体制

社長を最高責任者とし、安全統括管理者、鉄道事業本部長、運転管理者、運転保安部長、乗務員指導管理者および関係部長などの役割を明確にした安全管理体制を構築しています。

安全対策委員会は、輸送業務の実施および管理の方法を確認し、事故の再発防止対策等、安全性の向上を図るための施策を推進しており、年1回以上開催しています。

### 安全管理体制図



## 【安全性向上対策】

### 列車の安全対策

#### ■ATS (自動列車停止装置)

ATSは、列車が信号または曲線などで、設定された制限速度を超えて通過すると自動的に非常ブレーキが作動する装置です。



ATS車上装置



ATS地上装置

### ■防護無線

防護無線は、列車が事故などの緊急時に、近くにいる他の列車に警報を無線で発報するもので、乗務員が防護無線装置のボタンを押すと、付近を走行中の列車に警報が列車無線を通じ発信されます。この警報を確認した列車は直ちに停車します。名古屋鉄道では、防護無線の搭載を進めており、平成22年度末現在の搭載率は95.6%です。



### ■車両の検査

車両の保守については、7ヵ所の検査場・検車区において定期的に検査を行い、安全運行に努めています。また、車両の脱線防止対策として、車輪にかかる重量バランスを測定し、安定した走行ができるよう厳密に管理しています。



尾張旭検車区

### 安全への投資

当社では、安全関連設備投資として、平成22年度は50億円を投資しました。23年度は約100億円を予定していますが、これはICカード導入関連投資やバリアフリー化工事が一段落した一方、太田川駅付近をはじめとした高架工事や、鉄道業務棟の建設などの大規模な安全関連設備投資を行うことによるものです。今後も、安全・保安対策、車両の新造、土木・電気施設の改良、踏切保安設備の新設・改良などを計画的に実施し、さらなる安全性の向上を推進します。

	安全関連設備投資	その他の設備投資	計
平成22年度(実績)	50億円	73億円	123億円
平成23年度(計画)	104億円	6億円	110億円

## 駅の安全対策

### ■列車非常通報装置

ホームからの転落時などに、お客さまや駅係員が駅構内に設置したボタンを押すと、表示装置により列車の乗務員に駅構内で異常があることを知らせます。平成22年度は3駅に設置し、これにより計102駅に同装置が設置されました。今後も順次導入を進め、平成25年度までには120駅において設置する予定です。

#### お客さまへのお願い

ホームから転落したお客さまを見受けられたときなど、列車に危険を知らせたいときは、ホームに設置されている非常通報ボタンを押してください。



列車非常通報ボタン

### ■転落検知装置

乗降車時にお客さまが列車とホームの間から転落された場合に、ブザーの鳴動および表示装置により列車の乗務員に異常を知らせます。現在3駅に設置しています。



### ■車両転落防止幌

ホームから車両連結部への転落防止を図るため、車両固定連結部の車体側面に設置を進めています。平成22年度末現在で、315編成中229編成に設置し、整備率は72.7%です。



## 踏切・線路の安全対策

### ■踏切障害物検知装置

踏切内での落輪や停滞などによる踏切事故を防ぐため、交通量の多い主要踏切を中心に踏切障害物検知装置を設置しています。しゃ断桿が降下を完了してから、踏切内に何らかの障害物があると検知した場合、表示装置により列車の乗務員に異常があることを知らせるとともに、連動するATSを作動させます。



#### お客さまへのお願い

警報機が鳴り出したら、絶対に踏切を渡らないでください。万一、車が踏切内に閉じ込められたら、車でしゃ断機のさおを押し出して、急いで踏切の外へ脱出してください。

### ■オーバーハングせん光灯

道路に張り出す形で設置するせん光灯をオーバーハングせん光灯といいます。遠くから踏切に接近する自動車に対して、視認性を向上し警告することができます。



### ■光るしゃ断桿

交通量の多い踏切のしゃ断桿に、超高輝度LEDを取り付け、警報開始と同時に点滅させドライバーに注意喚起しています。



### ■線路の保守

保線業務は安全輸送の要であり、定期的に線路巡視を行い、線路の状態を点検・確認して適正な線路状態を保っています。また、レール探傷やレール削正、道床のつき固めなど安全のための線路の保守を行っています。

## 自然災害への対策

### ■降雨対策

降雨時における土砂崩壊などによる運転事故を未然に防止するため、沿線主要駅に自動雨量計を設置し、計測された雨量を基に列車の運転に関する規制を行っています。自動雨量計は、現在25カ所に設置しています。



自動雨量計

### ■強風対策

台風、低気圧接近時など強風による運転事故を未然に防止するため、沿線の橋りょう、高架部付近に風速計を設置し、計測された風速値を基に列車の運転に関する規制を行っています。風速計は、現在12カ所に設置しています。



風速計

### ■地震対策

地震が発生した場合において、沿線9カ所に設置した地震計で計測された地震加速度を基に列車の運転に関する規制を行っています。震度4相当(25ガル)以上の場合、列車無線を通じ、各列車に対して自動的に停止指示を通報します。



地震計

### ■早期に地震を警告するシステムの導入

大規模地震発生時の被害を防止あるいは軽減するためのシステムを平成19年10月に導入しました。これは、気象庁から配信される「緊急地震速報」を受け、社内システムで演算した結果、震度4相当以上の地震が沿線で発生すると予測した場合は、列車無線を通じ、各列車に対して自動的に停止指示を通報するものです。

## 緊急時対応訓練

### ■総合事故復旧訓練

緊急時に対応できるようさまざまな訓練を実施しています。平成22年度は、築港線・東名古屋港駅構内において、踏切障害事故を想定した避難誘導訓練および列車脱線事故復旧訓練を実施し、約265人の社員が参加しました。



避難誘導訓練



脱線事故復旧訓練

## 鉄道テロ対策

### ■防犯カメラの設置

テロ防止を視野に入れた防犯カメラについては、名鉄名古屋駅などに設置しています。また駅集中管理システム導入駅にも、駅務機器管理用の監視カメラを設置しており、防犯目的としての使用が可能です。



### ■「目に見える」巡回警備

主要駅に警戒腕章を配布し、係員が警戒巡回等を実施する際に着用することによって、テロの抑止効果を高めています。



### ■不審物発見時等のご協力をお願い

ポスターや列車内の電光表示器での掲示、また駅構内・車内放送等により不審物発見時等の情報提供をお願いしています。





# お客さまとのかわり

名古屋鉄道は、皆さまに安心してご利用いただける人にやさしい鉄道づくりをめざし、駅施設等ハード面の改良とともにソフト面でのバリアフリー化にも取り組んでいます。

## CS向上活動の推進

多様化するお客さまのニーズに的確にお応えし得る接客サービスを提供するため、CS向上活動を積極的に展開しています。鉄道事業本部長を委員長とするCS推進委員会のもと、支配人室にCS推進担当者、各幹事駅・乗務区にCS推進専任者ならびCS推進委員を配置し、本社から現場の第一線まで一体となって活動しています。

本社および現場スタッフで構成される拡大CS推進委員会では、外部講師によるCS講演会を実施するほか、接客場面を想定した接客対応事例発表(ロールプレイング)や車内アナウンスコンテストなど、CSを多面的に捉えた催しを通して全社レベルの向上につなげています。



接客対応事例発表(ロールプレイング)

## 名鉄お客さまセンター

平成16年10月、お客さまへのサービス向上を図るため、「名鉄お客さまセンター」を開設しました。お客さまからの各種お問合わせに対し迅速かつ適切に対応することももちろん、お寄せいただいたご意見・ご要望等から、問題点や課題を抽出し、サービス向上や業務改善に生かしています。

名鉄お客さまセンター TEL 052-582-5151  
営業時間 平日8:00~19:00  
土・日・休日および年末年始8:00~18:00

## サービス介助士

お年寄りやお体の不自由なお客さまにも快適にご利用いただけるよう、「サービス介助士」の有資格者を主要95駅に552名配置しています。(平成23年4月1日現在)専用の名札を着用し、資格を生かした細かい配慮により車いすの操作などのお手伝いを行っており、今後も順次増員を図っていきます。



## バリアフリー化5ヵ年計画の策定と推進

皆さまに安心してご利用いただける「人にやさしい鉄道づくり」を進めています。当社は、「バリアフリー新法」に基づく駅施設の整備をさらに推進するため、平成22年度までのバリアフリー化5ヵ年計画を策定しました。その結果、同法対象駅74駅(平成22年度乗降人員実績による)のうち、平成22年度までに72駅において段差解消についての整備を完了しました(実質的な段差解消を含む)。また、車両においても、車いす用座席を設置した車両の導入を進めています。



バリアフリー化した犬山駅

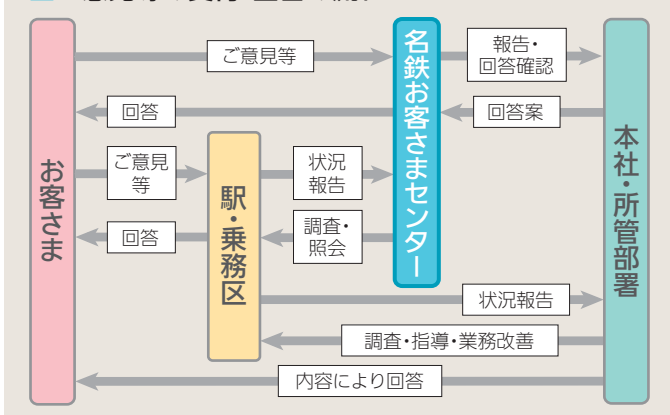


バリアフリー化した東岡崎駅



平成22年度段差解消工事実施駅 9駅

### ■ご意見等の受付・回答の流れ



## 遺失物管理システム

電車内や駅でのお忘れ物を照会できる「遺失物管理システム」を、名鉄お客さまセンターや有人駅に導入しています。駅係員がお忘れ物をお預かりした日時や場所、特徴などをシステムに登録することにより、お忘れ物の状況をリアルタイムで検索・把握することが可能になり、容易にお客さまへのご案内ができるようになりました。

## 見やすい案内表示の実施

お客さまに駅をスムーズにご利用いただくため、駅の案内表示類は「ユニバーサルデザイン」の考え方に沿った、ピクトグラム表示、外国語表記での整備を積極的に進めています。

特に、名鉄名古屋駅、金山駅、中部国際空港駅などでは、5カ国語(日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)の案内表示や駅名をアルファベット順に並べた運賃表を整備し、外国からのお客さまにもご利用いただきやすい駅の案内表示を行っています。

また、駅掲出用時刻表は「カラーユニバーサルデザイン」に配慮した数字のデザインや背景色を採用しています。

今後も、お客さまの視点に立ち、多くのお客さまに情報が伝わるように掲出方法に工夫をしながら、便利にご利用いただきやすい駅を実現してまいります。



ピクトグラム

アルファベット順に並べた運賃表

時刻表

## 「耳マーク※」の駅窓口への掲出

平成18年6月より、耳の不自由なお客さまに安心して鉄道をご利用いただくため、駅の窓口にて、「耳」をデザインした「耳マーク」のステッカーを掲出し、筆談等による案内を積極的に実施しています。

※「耳マーク」は、(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会が、耳の聞こえない人々の存在と立場を社会一般に認知していただき、コミュニケーションの配慮などの理解を求めていくために考案されたものです。



## 駅の禁煙化

健康増進法の施行に伴い、受動喫煙の防止を図るため、平成17年1月から全駅で駅構内の終日全面禁煙化を実施しています。

## 「AED」の設置

東岡崎駅、名鉄名古屋駅、金山駅、神宮前駅、中部国際空港駅、鳴海駅、犬山駅、太田川駅の計8駅にAED(自動体外式除細動器)を計14台設置しています。設置駅にはAEDの取扱いの研修を受けた駅係員を配置しています。



## 列車運行情報メール配信サービス

列車運行情報をお客さまに迅速にお伝えできるよう、平成20年5月から「運行情報メール」配信サービスを開始しました。これは、運行支障等により当社のホームページに「運行情報」が掲出されたことを、お客さまの携帯電話等にメールでお知らせするものです。これにより、お客さまが駅にお越しただく前に電車の運行状況を把握できるような環境整備の充実を図っております。





## 地域社会とのかかわり

名鉄グループでは、事業を通じて永く社会に貢献していくため、さまざまな場面で地域の皆さまと連携し、地域発展のお役に立ちたいと考えています。

### 地元タイアップ誘客キャンペーンの展開

名古屋鉄道では、愛知県犬山市をはじめ半田市・常滑市、旧東海道沿いの自治体などと連携し、沿線にある豊富な観光資源を生かして、沿線観光地の魅力を引き出し、活性化する取り組みをさまざまに展開しています。

平成23年からは、新たに豊川市とタイアップし、豊川稲荷の散策やB級グルメとして注目を集めている「いなり寿司」の食べ比べを楽しんでいただく「とよかわ開運キャンペーン」を1月1日～2月28日まで実施したほか、岐阜市とタイアップし、織田信長の天下統一の拠点となった名城・岐阜城の城下町や、昭和の香り漂うレトロな町並みを散策いただく「岐阜まち歩きキャンペーン」を、7月16日～10月16日まで実施しています。

また、春と秋に犬山の城下町歩きをお楽しみいただいている「犬山キャンペーン」に、初めて「宵の城下町」と「木曾川河畔の涼」をテーマとした「夏の犬山キャンペーン～『本物』を求めて、犬山へ。～」を8月1日～8月10日まで実施しました。

今後も、沿線各地との連携を図りながら、沿線価値の向上につながるキャンペーンを展開していきたいと考えています。



2011 岐阜まち歩きポスター



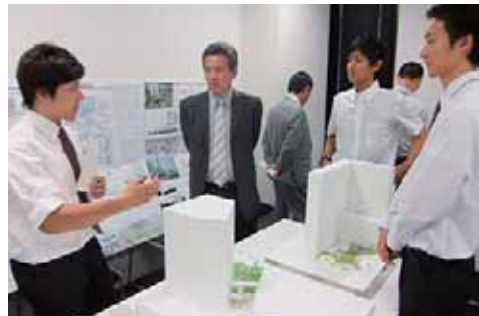
2011 夏の犬山キャンペーンポスター

### 名古屋駅地区街づくり協議会への参画

「名古屋駅地区街づくり協議会」は平成20年3月に発足し、現在は正会員44社(うち当社及び名鉄グループ5社を含む)により構成され、名古屋駅地区の魅力向上に取り組んでいます。

活動の一環として、毎月第2水曜には総勢約120名を動員し、清掃活動や違法駐輪対策を実施しており、地域環境の向上に貢献しています。また、平成23年4月には「名古屋駅地区街づくりガイドライン2011」を策定しました。今後はガイドラインの深度化に向け、環境負荷低減や、地域全体での防災・減災対策の推進による安全面での都市価値の向上、将来的なりニア中央新幹線開通を見据えたターミナルシティ形成戦略など、テーマ毎のワーキンググループを設置し、さらなる取り組みを実施していく予定です。

名古屋駅地区街づくり協議会ホームページ  
<http://www.nagoyaeki.org/>



意見交換会

### 「名鉄沿線おでかけマガジンWind」の発行

沿線情報や営業情報を提供するため、「名鉄沿線おでかけマガジンWind」を発行しています。毎月1回、9万部発行し、名鉄沿線主要駅で無料で配布しているほか、ホームページでもご覧いただけます。



名鉄沿線おでかけマガジンWind



## 鉄道のお仕事体験“たい・けん・がく!”の開催

平成21年8月から小学生を対象に、鉄道の仕事を実際に“体験・見学”して学ぶことができる特別イベント「たい・けん・がく!」を実施しています。参加者は、名鉄の制服に着替え記念撮影、普段は入ることができない駅の裏側を見学したり、車掌になりきって車内放送体験などを行い、鉄道の仕事を身近に感じていただいています。最近では、グループ会社とコラボして同様のイベントを実施するなど、さまざまな仕事の“体験・見学”を通じて、お子様の成長に役立てる取り組みを続けています。



運転体験



信号所見学

## 「こども110番の駅」の取り組み

こどもを狙った犯罪の防止や安全な地域づくりなどを目的として、日本全国の鉄道事業者と共同で「こども110番の駅」の取り組みを行っています。名古屋鉄道では終日駅員配置駅で「こども110番の駅」ステッカーおよびポスターを掲出し、こどもが助けを求めた場合、駅係員はこどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。



© 2010 Gullane (Thomas) Limited

## 「名鉄でんしゃまつり」の開催

ご家族向け鉄道イベント「名鉄でんしゃまつり」を平成23年5月に舞木検査場で開催し、約3,500名にご参加いただきました。会場では、運転台乗車体験や「電車と綱引き」など、名鉄電車に親しんでいただく多彩なイベントを実施しました。また会場内では「検査場で「エコ」を探そう」と題したクイズラリーを開催し、当社の環境への取り組みや、鉄道の環境優位性に関するPRを行いました。



36tクレーンによる作業実演



電車と綱引き

## 名鉄国際育英会

昭和58年に、それまでの名鉄育英会を統合して財団法人「名鉄国際育英会」を設立し、平成22年度は12人の愛知県で学ぶ外国人留学生などに対して奨学資金を援助する国際的な育英事業を行いました。名鉄グループは、こうした教育機会の提供を通じて、青少年の育成に貢献しています。



贈答風景



## 株主・投資家の皆さまとのかかわり

名古屋鉄道では、株主・投資家の皆さまに企業経営に関する情報を適時適切に開示し、経営の透明性を確保し、信頼される企業をめざします。

### 適時適切な情報開示

株主・投資家の皆さまに対し、当社の財務状況や設備投資など、投資の判断に必要な経営情報を適時適切に開示し、会社の状況を正しく理解していただけるよう努めています。

株主の皆さまには、半期ごとに決算の概要等を記載した報告書を送付し、経営状況を報告しています。また、ホームページに「株主・投資家情報」のサイトを設け、重要な企業情報の適時適切な提供に努めています。

### 株主総会

第147回定時株主総会を平成23年6月28日に開催し、約1,000名の株主の皆さまにご出席いただきました。当日は、映像を交えながら、平成22年度の事業報告や連結計算書類の説明等を行いました。

### インサイダー取引の防止

投資判断に重要な影響を及ぼす重要事実に関する情報の管理および特定有価証券等に係る売買等の規制について、基本的な事項を定めた「内部者取引管理規則」を制定するなど、インサイダー取引の未然防止に努めています。



## 従業員とのかかわり

従業員一人ひとりが働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

### 人事制度

従業員一人ひとりが、やる気や働き甲斐を持って自らの役割を高いレベルで遂行できることを目的とした「役割等級制度」を導入しています。この制度は、組織において期待される役割を処遇決定の中心とするもので、コース・職種に応じて期待される役割を明確に定義し、従業員に明示しています。

また、期待される役割の遂行度合いを、複数の観点から客観的に評価し、その結果を従業員本人にフィードバックすることで、評価の透明性・納得性を高めるとともに、効果的な指導や従業員のさらなるスキルアップも図っています。

### 働きやすい環境づくり

#### ■セクシャルハラスメント対策

セクシャルハラスメントは、個人の尊厳を傷つけ、能力の発揮を妨げるとともに、職場秩序や仕事の円滑な遂行が阻害される問題ととらえ、セクハラ防止のための研修や相談窓口の設置を行い、セクハラのない職場環境づくりに努めています。

#### ■コミュニケーション推進に向けた取り組み

経営者層や本社・現場スタッフとの間のコミュニケーションを図る場として、平成21年から「ふらっとミーティング」を随時開催しております。また、本社・現場スタッフ間の交流を図るため、駅やその周辺をボランティアで清掃する「ふらっとクリーニング」を併せて実施するなど、会社内のコミュニケーションの推進に努めています。

### 労働安全衛生

#### ■労働安全衛生

社員一人ひとりに災害や事故がなく、健康で明るく働けることが、安全の確保とお客さまへのよりよいサービスの提供につながると考え、快適な職場環境づくりに努めています。毎年、安全および衛生のスローガンを掲げ、労働安全衛生に積極的に取り組んでいます。

#### ■メンタルヘルス

メンタルヘルス不全者を発生させないため、また早期に発見できるようにするために、メンタルヘルスに対する正しい知識を身につけるための教育を実施しています。また、メンタルヘルス不全により会社を休んでいる従業員に対しては、産業医および保健師が定期的に保健面談を行い、復職に向けてのフォローアップを行っています。さらに、復職に際して勤務配慮が必要な場合は、産業医による勤務配慮措置により、できるだけ再発することがないような体制を整えています。

### 人材育成

名古屋鉄道は、従業員が担う役割に基づく教育体系を確立し、安全輸送を遂行するため徹底した安全教育と、お客さまサービス向上のための教育に力を入れています。

また、各種能力向上を補うため、外部ビジネススクールへの派遣などの自己啓発支援制度を導入し、従業員一人ひとりが意欲的に能力を高め、大きな結果を出せる実践的な自己啓発の支援体制を整えています。

## コミュニケーションスローガン策定

当社では、コミュニケーションスローガン「ココロをつなぐ、あしたへはこぶ。」を策定致しました。

当社は創業以来、地域交通を担う企業として、街と街、人と人をつなぐことで地域の発展に寄与してまいりました。これからは『ココロ』もつなげることで、お客さまにより多くの出会いや喜びを創り出し、それを未来に向かって一歩ずつ、あしたへはこんでいきたいと考えております。こうした当社の取

り組みに対する考えをお客さまに対して宣言し、約束する言葉がコミュニケーションスローガンです。

企業CMやポスターによる広報活動や、従業員向けのスローガブックの作成による社内啓発活動を通じて、コミュニケーションスローガンの実践に全社的に取り組むことにより、これからも地域の皆さまから愛される会社をめざしてまいります。



### 編集方針

本報告書は、昨年に引き続き、当社グループの環境および社会への取り組みについて紹介する冊子として作成しました。

本年も、より新しい情報を掲載するため、特集ページにおいて現在展開中の「名鉄エコプロジェクト2011」について紹介しています。

また、社会活動報告の中では、当社および当社グループを支援いただいているお客さまや地域社会、株主・投資家、従業員とのかかわりについて、ステークホルダーごとに内容を編集し、わかりやすく紹介しています。

本報告書の発行を通じて、さまざまな情報を開示し、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを促進していきたいと考えています。

### 対象組織範囲

名古屋鉄道㈱と名鉄グループ143社※を対象としています。  
※関係会社から、実質的な経営権を有しない会社等を除いています。

### 対象期間

平成22年4月1日から平成23年3月31日までとしました。ただしそれ以外の期間に取り組んだ内容も一部記載しています。

### 記載方法

環境省「環境報告ガイドライン(2007年度版)」を参考にし、可能な限りガイドラインに記載された事項を網羅するよう努めました。

### 本報告書に関するお問合せ先

名鉄グループ アクション・エコ推進委員会事務局  
(名古屋鉄道株式会社経営企画部内)  
〒450-8501 名古屋市中村区名駅一丁目2番4号  
TEL 052-588-0805 FAX 052-588-0809  
E-mail action-eco@nrr.meitetsu.co.jp

### ■表紙紹介

表紙デザインは、平成23年5月から展開している「名鉄エコプロジェクト2011」の一環として運行中の、ラッピング電車「エコムーブトレイン」に使用されているイラストを使用しています。(関連情報→4ページ)



#### 用紙

乗車券リサイクル紙を使用しています。



#### フォント

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォント(書体)を使用しています。



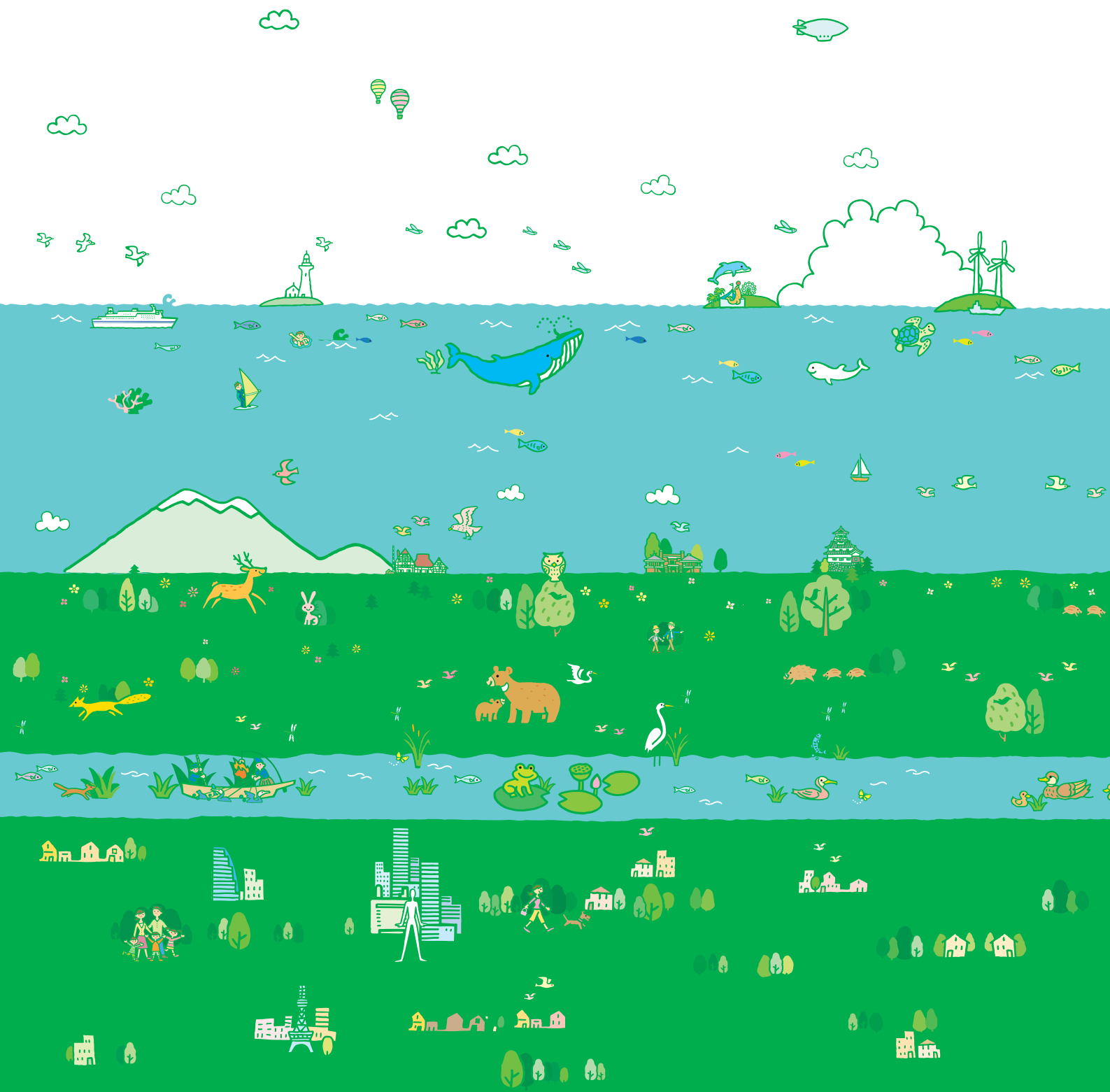
#### インキ

植物油インキの使用により石油系溶剤の使用量、VOC(揮発性有機化合物)発生を抑え、鉛、水銀、カドミウムなどの重金属も使用していません。



#### 印刷

インキ転写時にイソプロピルアルコールなどを含む湿し水が不要な、「水なし印刷」を採用しています。



## 名古屋鉄道株式会社

環境・社会報告書は  
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.meitetsu.co.jp>



このキャンペーンマークは、豊かな地球環境の象徴であり、同時に名鉄グループ エコ・ビジョンの基本理念を達成するための4つの要素「環境保全に対する「意識の向上」「技術力の向上」「地域との連携」を3枚の若葉で、それらを根底で支える「法令遵守」をレールで表したものです。